令和元年度（2019年度）

愛媛大学大学院理工学研究科

博 士 前 期 課 程

学 生 募 集 要 項

一 般 選 抜

推薦入学特別選抜Ⅱ

社 会 人 選 抜

外国人留学生選抜

（９月入学）

愛媛大学大学院理工学研究科

目　　次

1　アドミッション・ポリシー …… 1
2　募集人員 …… 5
3　一般選抜 …… 5
　⑴出願期間，入学者選抜試験日等及び出願書類等提出先 …… 5
　⑵出願資格 …… 6
　⑶出願要件 …… 7
　⑷選抜方法 …… 8
　⑸出願書類等 …… 9
　⑹配点，採点・評価基準，合否判定基準 …… 11
4　推薦入学特別選抜Ⅱ（博士後期課程進学コース） …… 14
　⑴出願期間，入学者選抜試験日等及び出願書類等提出先 …… 15
　⑵出願資格 …… 15
　⑶選抜方法 …… 15
　⑷出願書類等 …… 17
5　社会人選抜 …… 18
　⑴出願期間，入学者選抜試験日等及び出願書類等提出先 …… 18
　⑵出願資格 …… 18
　⑶選抜方法 …… 18
　⑷出願書類等 …… 19
　⑸配点，採点・評価基準，合否判定基準 …… 20
　⑹大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例による教育の実施について …… 22
6　外国人留学生選抜 …… 23
　⑴出願期間，入学者選抜試験日等及び出願書類等提出先 …… 23
　⑵出願資格 …… 23
　⑶選抜方法 …… 25
　⑷出願書類等 …… 26
　⑸配点，採点・評価基準，合否判定基準 …… 27
7　別表
　（別表１）…… 28
　（別表２）…… 28
　（別表３）…… 30
8　受験上の注意 …… 31
9　合理的配慮を希望する入学志願者の出願 …… 31
10　入学手続 …… 32
11　初年度の学費・諸経費等 …… 32
12　その他 …… 32
13　問題，正解・解答例又は出題意図（学力試験）の開示 …… 33
14　理工学研究科の概要 …… 34
　⑴研究科の組織 …… 34
　⑵研究科の概要及び担当教員 …… 35
（別紙）入学試験個人成績の開示 …… 43

〈本研究科所定の用紙〉
＊入学志願票（写真票，受験票）
＊推薦書（出願資格⑪）
＊推薦書（推薦入学特別選抜Ⅱ）
＊受験許可書
＊研究活動調書
＊入学資格審査調書
＊入学資格審査志望理由書
＊検定料払込証明書，払込取扱票
＊受験票送付用封筒
＊出願書類送付用封筒

1　アドミッション・ポリシー

愛媛大学大学院理工学研究科博士前期課程では，理工学に関連する基礎知識と専攻分野における専門知識を教授し，優れた科学的追求力と応用力をもつ科学技術者，科学研究者を育成しています。そのため，社会人，外国人留学生を含めて学士の学位保持者または相当者を対象に，科学と科学技術のフロンティアに立って社会の福利に貢献することを志す人材を求めています。

入学者選抜にあたっては，能力と意欲について適性を診る面接（口頭試問を含む。）があります。

以下は各専攻・コースの特徴，教育理念・目標，求める人物像です。

〔生産環境工学専攻〕

（機械工学コース）

本コースは，機械の設計・生産システム，エネルギーの変換と有効利用および機械システムの運動・制御の高度な専門知識や先端的な研究能力を持つ機械技術者・研究者を育成することによって，社会の発展および自然との調和に貢献することを理念としています。そのため，次のような資質・素養をもった人を求めています。

1．未知の課題や困難な問題に対して積極的に取り組む意欲のある人
2．技術者・研究者としての教養を高め，人類の幸福や社会に貢献しようとする意欲のある人
3．機械工学およびそれに準ずる専門基礎知識を有する人
4．科学技術的な表現力やコミュニケーション能力を高める意欲のある人

（環境建設工学コース）

本コースでは，社会基盤の建設および維持管理に関する基礎知識を備え，地域，日本あるいは世界を舞台に，自然環境との調和を図りつつ，持続可能な都市／地域／国土のマネジメントにリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指しており，次のような資質・素養を持つ人を求めています。

1．専門科目を習得するために必要な一定レベルの学力を有し，人文・社会系科目，理系科目，語学などに幅広く積極的に取り組める人
2．好奇心が強く，人間社会を支える基盤施設，自然環境の保全，豊かな国土やまちづくりなどに興味・関心がある人
3．野外での調査・観測や実験・実習，ならびに外国人を含む様々な考えを持つ人々との交流など，何事にも積極的かつ忍耐力をもって取り組むことができる人
4．自分が得た知識を説明でき，集団の中でリーダーシップを発揮できる人
5．多様な観点から物事を見ることができる人
6．上述した能力を養うために継続的に努力できる人

〔物質生命工学専攻〕

（機能材料工学コース）

本コースでは，材料に対する感性を磨き，物質やその機能に関するより高度な理論と材料工学に関わる応用技術を学びます。さらに，社会人としての豊かな教養および技術者・研究者としての責任感・倫理観などを身につけ，社会に役立つ技術者・研究者を養成することを目指しています。そのため，次のような人を求めています。

1．材料工学を学ぶために必要な基礎学力および専門知識を有する人
2．責任感および倫理観を有する人
3．学習および研究の意欲がある人

（応用化学コース）

本コースでは，化学の様々な分野での研究において，必要な基本的および専門的な方法論を習得し，最先端の研究に携わります。これによって，本コースでは化学の知識と方法を持って応用化学の発展に寄与できる研究者・技術者の育成を目指しています。そのため，次のような人を求めています。

1．自然科学についての基本的事項を理解しており，その知識をもとにしたさらなる勉学と研究に意欲的な人
2．化学とその応用に対する興味と探究心が旺盛で，新しい技術の開発に熱意と適性を有する人
3．化学に関する専門的な知識と経験をもとにして，社会の中で自分を活かす気持ちをもち，それに向けて努力できる人
4．グローバルな視点で物事を考えることができ，化学に関する専門的な知識と経験を活かして国際社会へ貢献できる人
5．研究者・技術者として社会に貢献するために必要な幅広い教養と倫理観を身につけた人

〔電子情報工学専攻〕

（電気電子工学コース）

本コースでは，学士課程で培った基礎素養の上に立って，電気電子工学関連の高度な技術と研究能力を身に付けさせ，先見性と独創性に富んだ人材の育成を目指しています。こうした教育目標を効率的に達成するため，特に次のような資質を有する人を求めています。

1．電気・電子・情報通信工学分野の専門基礎（数学，電気系物理，英語）の知識を有する人
2．電気・電子・情報通信工学分野の専門知識を高めることに意欲をもてる人
3．当該分野において積極的に研究を遂行し，課題の発掘と解決に努力を惜しまない人
4．研究成果を論理的に記述し発表する能力の修得に意欲ある人

（情報工学コース）

本コースでは，広い視野に立って深い学識を授け，情報工学分野における専門知識を活用する能力および同分野における研究能力を有する人材を育成することを教育の目標としています。そのため，次のような人を求めています。

1．急速に発展している情報技術を学び研究するために必要な基礎学力と専門的知識や技能を有する人
2．21世紀のグローバル化へ対応するために必要な能力を身につけ，国際的な視野をもった高度な技術者・研究者を目指す人
3．幅広い分野の知識と高度な専門的知識を自発的に吸収し，自ら課題を探求できる自律的な人
4．さまざまな社会の要求を，倫理観を含めた多角的な視点から捉え，それらを解決することで社会に貢献しようと考えている人

（ICTスペシャリスト育成コース）

本コースでは，知識基盤社会における地域発展を支えるために，ICT（情報通信技術）の深い知見・知識・能力と幅広い知識・教養を備え，地域の自治体や企業，社会において，ICT活用による変革や創造の主導的立場を担うスペシャリストの育成を教育の目標としています。そのために，次のような人を求めています。

1．急速に発展しているICTを学ぶために必要な基礎学力を有し，ICTの専門的スキルと知識の学習，獲得を希望する人

２．多面的な視点から，社会における様々な事物を論ずる能力の習得に意欲のある人
３．実践的なICTスキルと知識を活かし，多面的な視点から，地域，社会に変革をもたらし，人類の幸福や社会に貢献しようとする意欲のある人

〔数理物質科学専攻〕

（数理科学コース）

１．（学識の基盤）
数学や情報科学を専門的に学ぶために必要な学士課程レベルの基礎学力を有する。

２．（論理的思考力）
数学や情報科学に関する基礎的な事項について論証し，課題解決へのプロセスを論理的に説明することができる。

３．（科学に生きる意志）
数学や情報科学に強い興味を持ち，専門知識の習得を通して社会に貢献したいという熱意がある。

（物理科学コース）

１．（学識の基礎）
学士課程で自然科学の基礎を学び，その学理をより深く修めるための用意が十分にできている。

２．（基礎的研究活動力）
研究活動を行うための強い動機と基礎的技能をもっている。

３．（科学に生きる意志）
物理学に強い興味を持ち、専門知識の習得を通して社会に貢献したいという熱意がある。

（地球進化学コース）

１．（学識の基礎）
地球の進化や歴史に強い関心を持っており，地質学的，あるいは，地球物理学的な手段でそれらを明らかにするための学士課程レベルの基礎学力を備えている。

２．（基礎的研究活動力）
野外調査，実験，モデリング，シミュレーション等の多様な研究手法を複合的に用い，自ら課題の発掘と探求を行う基礎的技能を持っている。

３．（科学に生きる意志）
自然環境問題や資源の確保，自然災害の軽減といった身近な社会問題の解決に貢献したいという意欲を持っている。

〔環境機能科学専攻〕

（分子科学コース）

１．（学識の基礎）
学士課程レベルの専門科目としての化学とその周辺の自然科学分野の基礎学識を有しており，その学理をより深く修めるための用意が十分にできている。

２．（基礎的研究活動力）
化学分野において科学的原理に基づいた研究活動を行うための基礎的技能を備えている。

３．（科学に生きる意志）
理学をさらに深く修めて科学研究者，科学技術者，または高度専門職業人として立身し，社会，文化，地球環境保全のために科学・科学技術を役立てたいと志している。

（生物環境科学コース）

１．（学識の基礎）

生命現象や地球環境に関する学士課程レベルの基礎学識を有しており，その学理をより深く修めるための用意が十分にできている。

２．（基礎的研究活動力）

科学的原理や論理的思考に基づいて研究活動を行うための基礎的技能をもっている。

実験や観察などを通して新たな知見や法則性を導き出すことに強い関心がある。

学術情報の取得や発信のために必要な語学の技能を有している。

３．（科学に生きる意志）

生命現象や地球環境に関する理論や原理をさらに深く修めて，科学研究者，科学技術者，または高度専門職業人として立身し，社会，文化，地球環境保全のために科学・科学技術を役立てたいと志している。

２　募集人員

	専　　攻	教育コース	講　　座	募集人員
工学系	生産環境工学専攻	機械工学コース	機　械　工　学	若干人
		環境建設工学コース	環　境　建　設　工　学	若干人
	物質生命工学専攻	機能材料工学コース	機　能　材　料　工　学	若干人
		応用化学コース	応　用　化　学	若干人
	電子情報工学専攻	電気電子工学コース	電　気　電　子　工　学	若干人
		情報工学コース	情　報　工　学	若干人
		ICTスペシャリスト育成コース	ICTスペシャリスト育成	若干人
理学系	数理物質科学専攻	数理科学コース	数　理　科　学	若干人
		物理科学コース	物　理　科　学	若干人
		地球進化学コース	地　球　進　化　学	若干人
	環境機能科学専攻	分子科学コース	分　子　科　学	若干人
		生物環境科学コース	生　物　環　境　科　学	若干人

※募集人員には，推薦入学特別選抜Ⅰ，推薦入学特別選抜Ⅱ，社会人選抜を含みます。
※上記の募集人員の他に，外国人留学生若干人を受け入れます。
※ICTスペシャリスト育成コースは，社会人選抜試験のみ実施します。

３　一般選抜

（１）出願期間，入学者選抜試験日等及び出願書類等提出先

出　願　期　間	**令和元年７月18日（木）～７月29日（月）** （注）出願書類等を持参する場合は，午前９時から午後５時まで（土曜日，日曜日を除く。）とし，郵送の場合も，**７月29日（月）までに必着**とします。
入学者選抜試験日	**令和元年８月21日（水），22日（木）**
合　格　者　発　表	**令和元年９月３日（火）10時** 〈工学系〉**工学部本館玄関前** 〈理学系〉**理学部本館玄関前** に受験番号で合格者を発表するとともに，合格通知書を送付します。 なお，電話による合否の照会には応じません。
入学手続期間	**令和元年９月４日（水）～９月10日（火）** （土曜日，日曜日を除く。）
出願書類等提出先	〈工学系〉愛媛大学教育学生支援部 教育支援課 工学部チーム 〒790-8577　松山市文京町３番 TEL 089-927-9697 E-mail：kougakum@stu.ehime-u.ac.jp 〈理学系〉愛媛大学教育学生支援部 教育支援課 理学部チーム 〒790-8577　松山市文京町３番 TEL 089-927-9546 E-mail：scigakum@stu.ehime-u.ac.jp

（２）出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

① 大学を卒業した者及び令和元年９月までに卒業見込みの者

② 学校教育法第104条第４項の規定により大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び令和元年９月までに授与される見込みの者

③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和元年９月までに修了見込みの者

④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和元年９月までに修了見込みの者

⑤ 我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和元年９月までに修了見込みの者

⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において，修行年限が３年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和元年９月までに授与される見込みの者

⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和元年９月までに修了見込みの者

⑧ 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第５号）

⑨ 学校教育法第102条第２項の規定により他の大学院に入学した者であって，当該者をその後本学大学院に入学させる場合において，大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

⑩ 本学大学院において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，令和元年９月までに22歳に達するもの

⑪ 令和元年９月までに次のいずれかに該当する者であって，本学大学院の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの

１）大学に３年以上在学した者

２）外国において学校教育における15年の課程を修了した者

３）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者

４）我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

（注） 本学大学院に入学を志願する者で，上記の③，④，⑤，⑥，⑦，⑧，⑨，⑪に該当するものは，出願の前に，あらかじめ本研究科に申し出てください。

上記の⑩に該当するものは，以下の書類を期限までに提出してください。

《「出願資格⑩」に該当する者の事前の入学資格審査》

① 提出書類等

1）入学資格審査調書〔本研究科所定の用紙〕
2）入学資格審査志望理由書〔本研究科所定の用紙〕
3）最終学校の卒業証明書又は修了証明書
4）審査の参考となる資料（論文，特許等）
5）自己のあて先を明記し，82円分の切手を貼った返信用封筒〔資格審査結果の通知用〕

② 提出期限

令和元年６月14日（金）まで

③ 提出先

〈工学系〉愛媛大学教育学生支援部 教育支援課 工学部チーム
〒790-8577　松山市文京町３番　☎089-927-9697
〈理学系〉愛媛大学教育学生支援部 教育支援課 理学部チーム
〒790-8577　松山市文京町３番　☎089-927-9546

④ 入学資格審査

提出された書類によって「入学資格」の審査を行い，令和元年７月18日（木）までに本人へ通知します。

なお，入学資格審査に提出された書類は返還しないので，認定された者は，９ページの出願書類を別途提出してください。

また，入学資格審査結果は，本募集要項に基づいて実施する「令和元年度愛媛大学大学院理工学研究科博士前期課程入学者選抜試験」に限ります。

（３）出願要件

機能材料工学コースは，上記の出願資格のいずれか一つに該当する者で，かつ，以下の得点又は級に該当する TOEIC L&R，TOEFL iBT の成績証明書，あるいは工業英語能力検定の認定書を出願時に提出できる者に限って出願できます。

TOEIC L&R …… 340 点以上
TOEFL iBT …… 40 点以上
工業英語能力検定 …… ３級またはそれより上位の級

なお，提出する成績証明書については，９ページの(5)出願書類等でご確認ください。

（4）選抜方法

学力試験及び面接の結果と提出書類によって，合否判定基準に基づき判定します。

	月日（曜）	学力試験科目等	教育コース	時間
工学系	8月21日(水)	数学(注１)	機械工学コース 環境建設工学コース 機能材料工学コース 電気電子工学コース 情報工学コース	10：00～12：00
		専門基礎科目(注２)	応用化学コース	10：00～12：00
	8月22日(木)	専門科目(注３)	機械工学コース	9：00～10：30
			機能材料工学コース(注４) 情報工学コース	9：00～12：00
			環境建設工学コース	9：00～10：30
			応用化学コース 電気電子工学コース(注４)	9：00～11：00
		面接	機械工学コース 機能材料工学コース 応用化学コース 電気電子工学コース 情報工学コース	13：00～
		面接(口頭試問を含む。)	環境建設工学コース	14：00～
		英語(注５)	機械工学コース 環境建設工学コース 機能材料工学コース 応用化学コース 電気電子工学コース 情報工学コース	
	場所	松山市文京町３番　愛媛大学工学部		

（注１）数学の出題範囲は，次のとおり

教育コース	出題範囲
機械工学コース，環境建設工学コース 機能材料工学コース	微積分，線形代数，微分方程式
電気電子工学コース 情報工学コース	微積分，線形代数，微分方程式 複素関数

（注２）応用化学コースの専門基礎科目の出題範囲は，**別表１**（28ページ）のとおり
（注３）各教育コースの専門科目の出題範囲は，**別表２**（28ページ）のとおり
（注４）専門科目において，機能材料工学コース，電気電子工学コースは電卓持参のこと（計算機能のみの物）
（注５）各教育コースの英語の学力試験については，TOEIC L&RあるいはTOEFL iBTスコアからの換算点を英語の得点としますので，英語の学力試験を行いません。

（注）　面接の詳細は，試験当日に指示します。

	月日（曜）	学力試験科目等		教育コース	時間
理学系	8月21日(水)	専門科目(注1)	数学	数理科学コース	9：00～12：00
			物理	物理科学コース	
			地球科学	地球進化学コース	
			化学(注2)	分子科学コース	
			生物	生物環境科学コース	9：00～11：00
		英語		数理科学コース(注3)	
				物理科学コース	13：00～14：00
				地球進化学コース(注3)	
				分子科学コース(注3)	
				生物環境科学コース(注3)	
	8月22日(木)	面接（口頭試問を含む。）		数理科学コース	10：00～
				物理科学コース	
				地球進化学コース	9：00～
				分子科学コース	10：00～
				生物環境科学コース	9：00～
	場所	松山市文京町２番５号　愛媛大学理学部			

（注１）各教育コースの専門科目の出題範囲は，**別表３**（30ページ）のとおり
（注２）電卓使用可
（注３）数理科学コース，地球進化学コース，分子科学コース，生物環境科学コースは，TOEIC L&RあるいはTOEFL iBTのスコアからの換算点を，英語の得点としますので，英語の学力試験を行いません。

（注） 面接の詳細は，試験当日に指示します。

（５）出願書類等

ア　入学志願票（写真票，受験票）〔本研究科所定の用紙〕
イ　成績証明書〔出身大学（学部）長等が作成し，厳封したもの〕
ウ　卒業証明書又は卒業見込証明書〔出身大学（学部）長等が作成したもの〕
エ　修了証明書又は修了見込証明書〔出願資格③，④，⑤，⑥，⑦に該当する者〕
オ　学位授与証明書又は短期大学長若しくは高等専門学校長が作成した大学改革支援・学位授与機構へ令和元年４月に学士の学位の授与を申請した者である旨の証明書〔出願資格②に該当する者〕
カ　写真〔出願前３か月以内に撮影した上半身，無帽，正面向きの写真（縦４cm×横３cm）を，写真票に貼ってください。〕
キ　受験許可書〔現に大学院に在学中の者は，その所属長又はこれに準ずる者の受験許可書を提出してください。〕
ク　検定料30,000円を最寄りの郵便局又はゆうちょ銀行（他の金融機関からの振込はできません。）の窓口から払込後（ATMは使用しないでください。），日附印を押した「振替払込受付証明書（大学提出用）」を「検定料払込証明書」に貼って提出してください。なお，払込済の検定料は，32ページの「12⑶検定料の返還について」の返還請求できる場合を除き，返還しません。

ケ　受験票送付用封筒〔受験票の送付を希望する者は，本研究科所定の封筒にあて名及び郵便番号を記入の上，362円分の切手を貼ってください。〕

コ　**機械工学コース，環境建設工学コース，応用化学コース，電気電子工学コース，情報工学コース**

TOEIC L&RあるいはTOEFL iBTのスコアからの換算点を，英語の点数としますので，TOEIC L&RあるいはTOEFL iBTの成績証明書の原本とその写し（Ａ４サイズ）を１部提出してください。

成績証明書は，TOEIC L&RはOfficial Score Certificate（公式認定証），TOEFL iBTはOfficial Score Report（公式スコア票）とします。

提出できる成績証明書の試験日は，2017年４月以降とします。

TOEIC IP等の団体特別受験制度による成績証明書は利用できません。

機能材料工学コース

TOEIC L&R，TOEFL iBTのスコア，あるいは工業英語能力検定の合格級に基づく換算点を英語の点数としますので，TOEIC L&R，TOEFL iBTの成績証明書，あるいは，工業英語能力検定の認定証の原本とその写し（Ａ４サイズ）を１部提出してください。

成績証明書は，TOEIC L&R はOfficial Score Certificate（公式認定証），TOEFL iBTはOfficial Score Report（公式スコア票）とします。

提出できる成績証明書の試験日は，2017年４月以降とします。

TOEIC L&Rの場合，TOEIC IP等の団体特別受験制度による成績証明書は利用できません。

数理科学コース，地球進化学コース，分子科学コース，生物環境科学コース

TOEIC L&RあるいはTOEFL iBTのスコアからの換算点を，英語の点数としますので，TOEIC L&RあるいはTOEFL iBTの成績証明書の原本とその写し（Ａ４サイズ）を１部提出してください。

成績証明書は，TOEIC L&RはOfficial Score Certificate（公式認定証），TOEFL iBTはOfficial Score Report（公式スコア票）とします。

提出できる成績証明書の試験日は，2017年４月以降とします。

TOEIC IP等の団体特別受験制度による成績証明書は利用できません。

ただし，やむをえない事情で出願期間に成績証明書原本とその写しが提出できない場合，試験当日に成績証明書原本及びその写しを提出することができます。

その場合は必ず５ページの出願書類等提出先へ問い合わせてください。

《出願資格⑪に該当する者にかかわる出願書類等》

出願資格⑪で，本研究科へ出願しようとする者は，上記の出願書類等と併せて下記の書類を提出期限までに提出してください。なお，出願書類等のうち「卒業証明書又は卒業見込証明書」については，提出の必要はありません。

① 提出書類

推　薦　書	出身大学において作成し，厳封したもの〔本研究科所定の用紙〕
成績証明書	出身大学において作成し，厳封したもの 必修科目が明記され，３年次までに修得済みの科目名及びその単位数が記載されたもの
出願者の所属する学科等の教育課程表	出願者が所属する学科等の開講科目についての講義内容等が詳細に記載されたもの

② 提出期限

令和元年６月14日(金)まで

なお，持参する場合は，平日の午前９時から午後５時までとし，郵送の場合も，**令和元年６月14日(金)までに必着**とします。

③ 提出先

〈工学系〉愛媛大学教育学生支援部 教育支援課 工学部チーム

〒790-8577　松山市文京町３番　☎089-927-9697

E-mail：kougakum@stu.ehime-u.ac.jp

〈理学系〉愛媛大学教育学生支援部 教育支援課 理学部チーム

〒790-8577　松山市文京町３番　☎089-927-9546

E-mail：scigakum@stu.ehime-u.ac.jp

（６）配点，採点・評価基準，合否判定基準

① 配点

〈工学系〉

教育コース	数学	英語	専門科目	計
機械工学コース 環境建設工学コース 電気電子工学コース 情報工学コース	100	100	200	400

面接及び成績証明書はＡＢＣで評価し，合否判定の資料とします。

英語については，TOEIC L&RあるいはTOEFL iBTスコアからの換算点を英語の得点とします。なお，TOEIC L&RあるいはTOEFL iBTのスコアは，以下の換算法にしたがって換算します。ただし，換算点が100点を超える場合は100点とします。

TOEIC L&R の場合　　[換算点]=[TOEIC L&R スコア]／７

TOEFL iBTの場合　　[換算点]＝1.21×[TOEFL iBTスコア]＋８

教育コース	数学	英語	専門科目	計
機能材料工学コース	100	100	210	410

面接及び成績証明書はＡＢＣで評価し，合否判定の資料とします。

英語については，TOEIC L&R，TOEFL iBTのスコア，あるいは工業英語能力検定の合格級に基づく換算点を英語の得点とします。なお，換算点は，以下の換算法に従って算出します。ただし，換算点が100点を超える場合は100点とします。

TOEIC L&R の場合　　[換算点]=100×([TOEIC L&R スコア]－10)／980

TOEFL iBTの場合　　[換算点]=100×[TOEFL iBTスコア]／120

工業英検の場合
３級合格 …… 換算点55点
準２級合格 …… 換算点72点
２級合格 …… 換算点85点
１級合格 …… 換算点96点

教育コース	専門基礎科目	英語	専門科目	計
応用化学コース	150	100	100	350

面接及び成績証明書はＡＢＣで評価し，合否判定の資料とします。

英語については，TOEIC L&RあるいはTOEFL iBTのスコアからの換算点を英語の得点とします。なお，TOEIC L&RあるいはTOEFL iBTのスコアは，以下の換算法にしたがって換算します。ただし，換算点が100点を超える場合は100点とします。

TOEIC L&R の場合　　[換算点]=[TOEIC L&R スコア]／7

TOEFL iBT の場合　　[換算点]=1.21×[TOEFL iBT スコア]＋8

〈理学系〉

教育コース	専門科目	英語	面接(口頭試問を含む。)	計
数理科学コース 物理科学コース 地球進化学コース 分子科学コース 生物環境科学コース	200	100	100	400

数理科学コースの英語については，TOEIC L&R あるいは TOEFL iBT のスコアからの換算点を得点とします。なお，TOEIC L&R あるいは TOEFL iBT のスコアは，以下の換算法にしたがって換算します。ただし，換算点が 100 点を超える場合は 100 点とします。

TOEIC L&R の場合　　[換算点]=[TOEIC L&R スコア]／7

TOEFL iBT の場合　　[換算点]=1.21×[TOEFL iBT スコア]＋8

地球進化学コースの英語については，TOEIC L&R あるいは TOEFL iBT のスコアからの換算点を得点とします。
なお，TOEIC L&R あるいは TOEFL iBT のスコアは，以下の換算法にしたがって換算します。
ただし，換算点が 100 点を超える場合は 100 点とし，マイナスの場合は０点とします。

TOEIC L&R の場合　　[換算点]=0.2 ×[TOEIC L&R スコア]－30

TOEFL iBT の場合　　[換算点]=100 ×[TOEFL iBT スコア]／120＋20

分子科学コース，生物環境科学コースの英語については，TOEIC L&R あるいは TOEFL iBT のスコアからの換算点を得点とします。なお，TOEIC L&R あるいは TOEFL iBT のスコアは，以下の換算法にしたがって換算します。ただし，換算点が 100 点を超える場合は 100 点とします。

TOEIC L&R の場合　　[換算点]=[TOEIC L&R スコア]／7

TOEFL iBT の場合　　[換算点]=100×[TOEFL iBT スコア]／120＋20

② 採点・評価基準

	教育コース	科 目 等	採点・評価基準（一般的基準）
工学系	機械工学コース 機能材料工学コース 電気電子工学コース 情報工学コース	数 学	一般的学力をみます。
		英 語	一般的学力をみます。
		専門科目	専門的学力をみます。
		成績証明書	専門的学力をみます。
		面 接	目的意識，勉学意欲，自己表現力をみます。
	環境建設工学コース	数 学	一般的学力をみます。
		英 語	一般的学力をみます。
		専門科目	専門的学力をみます。
		成績証明書	専門的学力をみます。
		面接(口頭試問を含む。)	目的意識，勉学意欲，自己表現力をみます。 口頭試問については，基礎学力をみます。
	応用化学コース	専門基礎科目	専門の基礎となる３科目の基礎的学力をみます。
		英 語	一般的学力をみます。
		専門科目	専門的学力をみます。
		成績証明書	専門的学力をみます。
		面 接	目的意識，勉学意欲，自己表現力をみます。
理学系	数理科学コース 物理科学コース 地球進化学コース 分子科学コース 生物環境科学コース	専門科目	専門的学力をみます。
		英 語	一般的学力をみます。
		面接(口頭試問を含む。)	目的意識，勉学意欲，自己表現力をみます。 口頭試問については，基礎学力をみます。

③　合否判定基準

	教育コース	判　定　基　準	同点者の順位決定方法
工学系	機械工学コース 電気電子工学コース	学力試験の得点，面接及び成績証明書で合否を判定します。 ただし，面接の評価がＣの場合は不合格とします。	同点者は同順位とします。
	環境建設工学コース	学力試験の得点，面接及び成績証明書で合否を判定します。ただし，次のいずれかに該当する場合は不合格とします。 (1)数学，英語及び専門科目の得点の合計が1/2 未満，(2)面接（口頭試問を含む。）の評価がC，(3)成績証明書の評価がC	同点者は同順位とします。
	機能材料工学コース	学力試験の得点，面接及び成績証明書で合否を判定します。 ただし，次のいずれかに該当する場合は不合格とします。 (1)数学の得点が1/3未満，(2)専門科目の得点が1/3未満，(3)専門科目のうち必須科目（基礎物理学）の得点が1/3未満，(4)面接の評価がＣ，(5)成績証明書の評価がＣ	同点者は同順位とします。
	情報工学コース	学力試験の得点，面接及び成績証明書で合否を判定します。ただし，次のいずれかに該当する場合は不合格とします。 (1) 面接の評価がC，(2) 成績証明書の評価がC	同点者は同順位とします。
	応用化学コース	学力試験の得点，面接及び成績証明書で合否を判定します。 ただし，次のいずれかに該当する場合は不合格とします。 (1)英語，専門基礎科目及び専門科目の得点の合計が1/3未満，(2)面接の評価がＣ，(3)成績証明書の評価がＣ	同点者は同順位とします。
理学系	数理科学コース 物理科学コース 地球進化学コース 分子科学コース 生物環境科学コース	総合点で合否を判定します。	同点者は同順位とします。

４　推薦入学特別選抜Ⅱ（博士後期課程進学コース）

本研究科では，志望する教育コースの専門分野と異なる学科等から大学院への進学を希望し，将来，博士後期課程への進学を希望する学生を受け入れるために，推薦入学特別選抜Ⅱ（博士後期課程進学コース）の入学者選抜試験を実施します。カリキュラムについては学生の学習履歴に配慮し，他教育コースの単位を多く履修できるよう弾力化しています。

なお，出願に際しては，出願書類等の提出先に問い合わせてください。

（1）出願期間，入学者選抜試験日等及び出願書類等提出先

出　願　期　間	**令和元年７月18日(木)～７月29日(月)** （注）出願書類等を持参する場合は，午前９時から午後５時まで（土曜日，日曜日を除く。）とし，郵送の場合も，**７月29日(月)までに必着**とします。
入学者選抜試験日	**令和元年８月22日(木)**
合　格　者　発　表	**令和元年９月３日(火)10時** 〈工学系〉**工学部本館玄関前** 〈理学系〉**理学部本館玄関前** に受験番号で合格者を発表するとともに，合格通知書を送付します。 なお，電話による合否の照会には応じません。
入学手続期間	**令和元年９月４日(水)～９月10日(火)** （土曜日，日曜日を除く。）
出願書類等提出先	〈工学系〉愛媛大学教育学生支援部 教育支援課 工学部チーム 〒790-8577　松山市文京町３番 TEL 089-927-9697 E-mail：kougakum@stu.ehime-u.ac.jp 〈理学系〉愛媛大学教育学生支援部 教育支援課 理学部チーム 〒790-8577　松山市文京町３番 TEL 089-927-9546 E-mail：scigakum@stu.ehime-u.ac.jp

（2）出願資格

次の(1)，(2)のいずれかに該当し，志望する教育コースの専門分野と異なる学科等から進学を希望し，かつ博士後期課程への進学を希望する者であって，本研究科後期課程の研究指導教員の指導予定教員から推薦を受けたもの

(1)　大学を令和元年９月早期卒業見込みの者

(2)　短期大学の専攻科又は高等専門学校の専攻科に在籍し，当該専攻科を令和元年９月に修了見込みの者で，学校教育法第104条第４項の規定により，令和元年９月までに大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与される見込みのもの

（3）選抜方法

面接（口頭試問を含む。），推薦書及び成績証明書，英語を総合して判定します。

月日（曜）	学力試験科目等	教育コース	時　間
８月22日(木)	面接（口頭試問を含む。）	〈工学系〉 機械工学コース 環境建設工学コース 機能材料工学コース 応用化学コース 電気電子工学コース 情報工学コース 〈理学系〉 数理科学コース 物理科学コース 地球進化学コース 分子科学コース 生物環境科学コース	９：00～
場　所	〈工学系〉松山市文京町３番　愛媛大学工学部 〈理学系〉松山市文京町２番５号　愛媛大学理学部		

（注）　面接についての詳細は，試験当日に指示します。

① 配点

教育コース	面接(口頭試問を含む。)	推薦書，成績証明書	計
〈工学系〉 機械工学コース 環境建設工学コース 機能材料工学コース 応用化学コース 電気電子工学コース 情報工学コース 〈理学系〉 数理科学コース 物理科学コース 地球進化学コース 生物環境科学コース	100	100	200

教育コース	面接(口頭試問を含む。)	推薦書，成績証明書	英語	計
分子科学コース	100	100	100	300

分子科学コースの英語については TOEIC L&R あるいは TOEFL iBT のスコアからの換算点を英語の得点とします。以下の換算法にしたがって換算します。ただし、換算点が 100 点を超える場合は 100 点とします。

TOEIC L&R の場合　　[換算点]=[TOEIC L&R スコア]／7

TOEFL iBT の場合　　[換算点]＝100×[TOEFL iBT スコア]／120＋20

② 採点・評価基準

教育コース	教科等	採点評価基準（一般的基準）
〈工学系〉 機械工学コース 環境建設工学コース 機能材料工学コース 応用化学コース 電気電子工学コース 情報工学コース 〈理学系〉 数理科学コース 物理科学コース 地球進化学コース 生物環境科学コース	面接（口頭試問を含む。）	基礎学力，目的意識，勉学意欲，自己表現力などについて，総合的に評価します。
	推薦書，成績証明書	学業成績，人物，志望動機などについて，総合的に評価します。
分子科学コース	面接（口頭試問を含む。	基礎学力，目的意識，勉学意欲，自己表現力などについて，総合的に評価します。
	推薦書，成績証明書	学業成績，人物，志望動機などについて，総合的に評価します。
	英語	一般的学力をみます。

③　合否判定基準

教育コース	判　定　基　準	同点者の順位決定方法
〈工学系〉 機械工学コース 環境建設工学コース 機能材料工学コース 応用化学コース 電気電子工学コース 情報工学コース 〈理学系〉 数理科学コース 物理科学コース 地球進化学コース 分子科学コース 生物環境科学コース	総合点で合否を判定します。	同点者は同順位とします。

（4）出願書類等

出　願　書　類　等	摘　　要
入学志願票 （写真票，受験票）	本研究科所定のもの
成績証明書	出身大学（学部）長等が作成し，厳封したもの
卒業(修了)見込証明書	出身大学（学部）長等が作成したもの
学士の学位授与申請予定証明書	出願資格(2)の者 短期大学の専攻科又は高等専門学校の専攻科の学位取得得見込者で学(校)長の証明する学位授与申請予定証明書
推薦書 （推薦入学特別選抜Ⅱ）	本研究科所定のもので，厳封したもの
TOEIC L&Rあるいは TOEFL iBTの成績証明書の原本とその写し (分子科学コース志願者)	成績証明書は，TOEIC L&R は Official Score Certificate（公式認定証），TOEFL iBT は Official Score Report（公式スコア票）。なお、TOEIC L&R と TOEFL iBT の試験日は 2017年４月以降とし，TOEIC IP 等の団体制度による成績証明書は利用できません。
検定料払込証明書	検定料30,000円を最寄りの郵便局又はゆうちょ銀行（他の金融機関からの振込はできません。）の窓口から払込後（ATMは使用しないでください。），日附印を押した「振替払込受付証明書（大学提出用)」を「検定料払込証明書」に貼って提出してください。なお，払込済の検定料は，32ページの「12(3)検定料の返還について」の返還請求できる場合を除き，返還しません。
写　　真	出願前３か月以内に撮影した上半身，無帽，正面向きの写真（縦４cm×横３cm，白黒又はカラー）を，写真票に貼ってください。
受験票送付用封筒	受験票の郵送を希望する者は，あて先を明記し，362円分の切手（速達）を貼って提出してください。

５　社会人選抜

（１）出願期間，入学者選抜試験日等及び出願書類等提出先

出　願　期　間	**令和元年７月18日(木)～７月29日(月)** (注) 出願書類等を持参する場合は，午前９時から午後５時まで（土曜日，日曜日を除く。）とし，郵送の場合も，**７月29日(月)までに必着**とします。
入学者選抜試験日	〈工学系〉 **令和元年８月22日(木)** 〈理学系〉 **令和元年８月21日(水)，22日(木)**
合　格　者　発　表	**令和元年９月３日(火)10時** 〈工学系〉**工学部本館玄関前** 〈理学系〉**理学部本館玄関前** に受験番号で合格者を発表するとともに，合格通知書を送付します。 なお，電話による合否の照会には応じません。
入学手続期間	**令和元年９月４日(水)～９月10日(火)** （土曜日，日曜日を除く。）
出願書類等提出先	〈工学系〉愛媛大学教育学生支援部 教育支援課 工学部チーム 〒790-8577　松山市文京町３番 TEL 089-927-9697 E-mail：kougakum@stu.ehime-u.ac.jp 〈理学系〉愛媛大学教育学生支援部 教育支援課 理学部チーム 〒790-8577　松山市文京町３番 TEL 089-927-9546 E-mail：scigakum@stu.ehime-u.ac.jp

（２）出願資格

一般選抜のいずれかの出願資格を有し，かつ社会人技術者等であって，同一の研究機関，教育機関，企業等に，正規職員として入学予定年月までに１年以上（ICTスペシャリスト育成コースは２年）の勤務経験を有し，勤務成績が優秀であると所属長又はこれに準ずる者から推薦を受けた者

（３）選抜方法

面接の結果と提出書類によって，合否判定基準に基づき判定します。

	月日（曜）	学力試験科目等	教育コース	時間
工学系	８月22日(木)	面接 （口頭試問を含む。）	機械工学コース 応用化学コース 電気電子工学コース 情報工学コース ICTスペシャリスト育成コース	13：00～
		面接 （口頭試問を含む。）	環境建設工学コース	14：00～
		面接	機能材料工学コース	13：00～
	場所	松山市文京町３番　愛媛大学工学部		

（注）　面接の詳細は，試験当日に指示します。

<table>
<tr><th></th><th>月日（曜）</th><th colspan="2">学力試験科目等</th><th>教 育 コ ー ス</th><th>時　　間</th></tr>
<tr><td rowspan="13">理
学
系</td><td rowspan="9">8月21日(水)</td><td rowspan="4">専門科目(注1)</td><td>数　　学</td><td>数理科学コース</td><td rowspan="4">9：00～12：00</td></tr>
<tr><td>物　　理</td><td>物理科学コース</td></tr>
<tr><td>地球科学</td><td>地球進化学コース</td></tr>
<tr><td>化学(注2)</td><td>分子科学コース</td></tr>
<tr><td>生　　物</td><td>生物環境科学コース</td><td>9：00～11：00</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="5">英　　語</td><td>数理科学コース(注３)</td><td></td></tr>
<tr><td>物理科学コース</td><td>13：00～14：00</td></tr>
<tr><td>地球進化学コース(注３)</td><td></td></tr>
<tr><td>分子科学コース(注３)</td><td></td></tr>
<tr><td>生物環境科学コース(注3)</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="5">8月22日(木)</td><td colspan="2" rowspan="5">面　　接
(口頭試問を含む。)</td><td>数理科学コース</td><td rowspan="2">10：00～</td></tr>
<tr><td>物理科学コース</td></tr>
<tr><td>地球進化学コース</td><td>9：00～</td></tr>
<tr><td>分子科学コース</td><td>10：00～</td></tr>
<tr><td>生物環境科学コース</td><td>9：00～</td></tr>
<tr><td>場　　所</td><td colspan="4">松山市文京町２番５号　愛媛大学理学部</td></tr>
<tr><td colspan="6">（注１）各教育コースの専門科目の出題範囲は，別表３（30ページ）のとおり
（注２）電卓使用可
（注３）数理科学コース，地球進化学コース，分子科学コース，生物環境科学コースは，TOEIC L&RあるいはTOEFL iBTのスコアからの換算点を英語の得点としますので，英語の学力試験を行いません。</td></tr>
</table>

（注）　面接の詳細は，試験当日に指示します。

（４）出願書類等

ア　入学志願票（写真票，受験票）〔本研究科所定の用紙〕
イ　成績証明書〔出身大学（学部）長等が作成し，厳封したもの〕
ウ　卒業証明書又は卒業見込証明書〔出身大学（学部）長等が作成したもの〕
エ　写真〔出願前３か月以内に撮影した上半身，無帽，正面向きの写真（縦４cm×横３cm）を，写真票に貼ってください。〕
オ　受験許可書〔社会人選抜志願者は，その所属長又はこれに準ずる者の受験許可書を提出してください。〕
カ　検定料30,000円を最寄りの郵便局又はゆうちょ銀行（他の金融機関からの振込はできません。）の窓口から払込後（ATMは使用しないでください。），日附印を押した「振替払込受付証明書（大学提出用）」を「検定料払込証明書」に貼って提出してください。なお，払込済の検定料は，32ページの「12(3)検定料の返還について」の返還請求できる場合を除き，返還しません。
キ　受験票送付用封筒〔受験票の送付を希望する者は，本研究科所定の封筒にあて名及び郵便番号を記入の上，362円分の切手を貼ってください。〕
ク　志望理由書〔本研究科に入学し，勉学，研究を行いたいと考えた動機及び目的を1,000字以内で記入してください。様式随意〕
ケ　研究活動調書〔本研究科所定の用紙に職務内容，社会における研究活動状況を示すものを記入してください。〕

コ　**電気電子工学コース，情報工学コース，ICTスペシャリスト育成コース**

電子情報工学分野に関連するものに限らず，語学や業務に関係する資格や能力認定評価をお持ちの方は，それを証明する書類を提出してください。

数理科学コース，地球進化学コース，分子科学コース，生物環境科学コース

TOEIC L&RあるいはTOEFL iBTのスコアからの換算点を，英語の点数としますので，TOEIC L&RあるいはTOEFL iBTの成績証明書の原本とその写し（A４サイズ）を１部提出してください。成績証明書は，TOEICはOfficial Score Certificate（公式認定証），TOEFL iBTはOfficial Score Report（公式スコア票）とします。提出できる成績証明書の試験日は，2017年４月以降とします。TOEIC IP等の団体特別受験制度による成績証明書の利用はできません。

ただし，やむをえない事情で出願期間に成績証明書原本とその写しが提出できない場合，試験当日に成績証明書原本及びその写しを提出することができます。

その場合は必ず18ページの出願書類等提出先へ問い合わせてください。

（５）配点，採点・評価基準，合否判定基準

①　配点

〈工学系〉

教育コース	面接（口頭試問を含む。）	計
機械工学コース 環境建設工学コース 応用化学コース	100	100

教育コース	面接	計
機能材料工学コース	100	100

電気電子工学コース，情報工学コース，ICTスペシャリスト育成コース

面接（口頭試問を含む。）はABCで評価します。

電子情報工学分野に関連するものに限らず，語学や業務に関係する資格や能力認定評価を証明する資料を，面接の際の参考資料とします。

〈理学系〉

教育コース	専門科目	英語	面接(口頭試問を含む。)	計
数理科学コース 物理科学コース 地球進化学コース 分子科学コース 生物環境科学コース	200	100	100	400

数理科学コースの英語については，TOEIC L&R あるいは TOEFL iBT のスコアからの換算点を得点とします。なお，TOEIC L&R あるいは TOEFL iBT のスコアは，以下の換算法にしたがって換算します。ただし，換算点が 100 点を超える場合は 100 点とします。

TOEIC L&R の場合　　[換算点]=[TOEIC L&R スコア]／7

TOEFL iBT の場合　　[換算点]=1.21×[TOEFL iBT スコア]＋8

地球進化学コースの英語については，TOEIC L&R あるいは TOEFL iBT のスコアからの換算点を得点とします。
なお，TOEIC L&R あるいは TOEFL iBT のスコアは，以下の換算法にしたがって換算します。
ただし，換算点が 100 点を超える場合は 100 点とし，マイナスの場合は 0 点とします。

TOEIC L&R の場合　　[換算点]＝0.2 ×[TOEIC L&R スコア]－30

TOEFL iBT の場合　　[換算点]＝100 ×[TOEFL iBT スコア]／120＋20

分子科学コース，生物環境科学コースの英語については，TOEIC L&R あるいは TOEFL iBT のスコアからの換算点を得点とします。なお，TOEIC L&R あるいは TOEFL iBT のスコアは，以下の換算法にしたがって換算します。ただし，換算点が 100 点を超える場合は 100 点とします。

TOEIC L&R の場合　　[換算点]＝[TOEIC L&R スコア]／7

TOEFL iBT の場合　　[換算点]＝100×[TOEFL iBT スコア]／120＋20

② 採点・評価基準

	教育コース	科　目　等	採点・評価基準（一般的基準）
工学系	機械工学コース 電気電子工学コース 情報工学コース ICTスペシャリスト育成コース	面接（口頭試問を含む。）	目的意識，勉学意欲，自己表現力をみます。 口頭試問については，基礎学力をみます。
	環境建設工学コース	面接（口頭試問を含む。）	志望理由書，研究活動調書の内容を含めた目的意識，勉学意欲，基礎学力，自己表現力をみます。 口頭試問については，基礎学力(英語含む)をみます。
	機能材料工学コース	面　　接	志望理由書，研究活動調書の内容を含めた目的意識，勉学意欲，自己表現力をみます。
	応用化学コース	面接（口頭試問を含む。）	志望理由書，研究活動調書の内容を含めた目的意識，勉学意欲，自己表現力をみます。
理学系	数理科学コース 物理科学コース 地球進化学コース 分子科学コース 生物環境科学コース	専　門　科　目	専門的学力をみます。
		英　　語	一般的学力をみます。
		面接（口頭試問を含む。）	目的意識，勉学意欲，自己表現力をみます。 口頭試問については，基礎学力をみます。

③　合否判定基準

	教育コース	判　定　基　準	同点者の順位決定方法
工学系	機械工学コース	面接（口頭試問を含む。）の得点で合否を判定します。	同点者は同順位とします。
	環境建設工学コース	面接（口頭試問を含む。）の得点で合否を判定します。ただし，面接（口頭試問を含む。）の得点が1/3未満の場合は不合格とします。	同点者は同順位とします。
	機能材料工学コース	面接の得点で合否を判定します。	同点者は同順位とします。
	応用化学コース	面接（口頭試問を含む。）の得点で合否を判定します。	同点者は同順位とします。
	電気電子工学コース 情報工学コース	面接（口頭試問を含む。）の結果で合否を判定します。	
	ICTスペシャリスト育成コース	面接（口頭試問を含む。）の結果がＡまたはＢである者を合格とします。	
理学系	数理科学コース 物理科学コース 地球進化学コース 分子科学コース 生物環境科学コース	総合得点で合否を判定します。	同点者は同順位とします。

（6）大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例による教育の実施について

大学院設置基準第14条では，「大学院の課程においては，教育上特別の必要があると認められる場合には，夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」旨規定されており，社会人等の就学に配慮がなされています。

本学大学院理工学研究科博士前期課程では，同条に定める教育方法の特例を大学院での履修を希望する社会人技術者等に対し，実施しています。

概要は，次のとおりです。

○　特例適用の対象となる学生は，あらかじめ指導教員に特例の適用を申し出て，履修計画を作成してください。

○　１年次は，通常の授業時間帯で30単位のうち20単位以上を修得します。２年次は，特例による履修で必要な単位を修得することができます。

６　外国人留学生選抜

（１）出願期間，入学者選抜試験日等及び出願書類等提出先

出　願　期　間	**令和元年７月18日(木)～７月29日(月)** (注) 出願書類等を持参する場合は，午前９時から午後５時まで（土曜日，日曜日を除く。）とし，郵送の場合も，**７月29日(月)までに必着**とします。
入学者選抜試験日	〈工学系〉**令和元年８月22日(木)** 〈理学系〉**令和元年８月21日(水)，22日(木)**
合　格　者　発　表	**令和元年９月３日(火)10時** 〈工学系〉**工学部本館玄関前** 〈理学系〉**理学部本館玄関前** に受験番号で合格者を発表するとともに，合格通知書を送付します。 なお，電話による合否の照会には応じません。
入学手続期間	**令和元年９月４日(水)～９月10日(火)** (土曜日，日曜日を除く。)
出願書類等提出先	〈工学系〉愛媛大学教育学生支援部 教育支援課 工学部チーム 〒790-8577　松山市文京町３番 TEL 089-927-9697 E-mail：kougakum@stu.ehime-u.ac.jp 〈理学系〉愛媛大学教育学生支援部 教育支援課 理学部チーム 〒790-8577　松山市文京町３番 TEL 089-927-9546 E-mail：scigakum@stu.ehime-u.ac.jp

出願にあたっての留意事項

〈環境建設工学コース・応用化学コース・電気電子工学コース〉
出願時外国に在住する者で，インターネットインタビューによる遠隔受験を希望する者は，６月14日(金)までに事前に連絡をしてください。
但し，愛媛大学の学術交流協定校又は本研究科の教員との共同研究等を行ったことのある大学を卒業又は卒業見込みのものに限ります。
（連絡先）工学部入試係：kougakum@stu.ehime-u.ac.jp

（２）出願資格

日本の国籍を有しない者で，次のいずれかの条件を満たしているものとします。但し，出入国管理及び難民認定法に定めるところにより，「留学」の在留資格を有する者，又は取得見込みの者に限ります。

① 大学を卒業した者及び令和元年９月までに卒業見込みの者
② 外国において，学校教育における16年の課程を修了した者及び令和元年９月までに修了見込みの者
③ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において，修業年限が３年以上である課程を修了することにより，学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和元年９月までに授与される見込みの者

④　外国において，学校教育における15年の課程を修了し，所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本学大学院が認めた者
⑤　本学大学院において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，令和元年９月までに22歳に達するもの

（注）本大学院に志望する者で，上記の各号に該当するものは，出願の前（上記の③，④，⑤に該当するものは，令和元年６月７日（金）までに），下記の連絡先から工学系は志望するコースのコース長及び教育支援課工学部チームへ，理学系は教育支援課理学部チームへ必ず相談してください。

（連絡先）
機械工学コース：nakahara.masaya.mf@ehime-u.ac.jp
環境建設工学コース：nakahata.kazuyuki.mk@ehime-u.ac.jp
機能材料工学コース：aono.hiromichi.mf@ehime-u.ac.jp
応用化学コース：matsuguchi.masanobu.mm@ehime-u.ac.jp
電気電子工学コース：okamoto.yoshihiro.mj@ehime-u.ac.jp
情報工学コース：ninomiya.takashi.mk@ehime-u.ac.jp
工学部チーム：kougakum@stu.ehime-u.ac.jp

数理科学コース
物理科学コース
地球進化学コース
分子科学コース
生物環境科学コース
——— scigakum@stu.ehime-u.ac.jp

《「出願資格④」に該当する者にかかわる出願書類等》

出願資格④で，本研究科へ出願しようとする者は，26ページの出願書類等と併せて下記の書類を提出期限までに出願書類等提出先（24ページ）に提出してください。なお，出願書類のうち「卒業証書又は卒業見込証明書」については，提出の必要はありません。

①　提出書類

推　薦　書	出身大学において作成し，厳封したもの〔本研究科所定の用紙〕
成績証明書	出身大学において作成し，厳封したもの 必修科目が明記され，３年次までに修得済みの科目名及びその単位数が記載されたもの
出願者の所属する学科等の教育課程表	出願者が所属する学科等の開講科目についての講義内容等が詳細に記載されたもの

②　提出期限

令和元年６月14日（金）まで

なお，持参する場合は，平日の午前９時から午後５時までとし，郵送の場合も，**令和元年６月14日（金）までに必着**とします。

《「出願資格⑤」に該当する者の事前の入学資格審査》

出願資格⑤で，本研究科へ出願しようとする者は，下記の書類を提出期限までに出願書類等提出先（24ページ）に提出してください。なお，封筒の表に「博士前期課程入学資格審査書類在中」と朱書してください。

① 提出書類等

1）入学資格審査調書〔本研究科所定の用紙〕
2）入学資格審査志望理由書〔本研究科所定の用紙〕
3）最終学校の卒業証明書又は修了証明書
4）審査の参考となる資料（論文，特許等）
5）自己のあて先を明記し，82円分の切手を貼った返信用封筒〔資格審査結果の通知用〕

② 提出期限

令和元年６月14日(金)まで

なお，持参する場合は，平日の午前９時から午後５時までとし，郵送の場合も，**令和元年６月14日(金)までに必着**とします。

③ 入学資格審査

提出された書類によって「入学資格」の審査を行い，その結果を令和元年７月18日(木)までに本人へ通知します。

なお，入学資格審査に提出された書類は返還しないので，認定された者は，26ページの出願書類を別途提出してください。

また，入学資格審査結果は，本募集要項に基づいて実施する「令和元年度愛媛大学大学院理工学研究科博士前期課程入学者選抜試験」に限ります。

（３）選抜方法

学力試験（理学系），面接及び提出書類によって，合否判定基準に基づき判定します。

	月日（曜）	学力試験科目等	教育コース	時間
工学系	８月22日(木)	面接 (口頭試問を含む。)	機械工学コース	９：00～
			環境建設工学コース(注１) 機能材料工学コース 応用化学コース(注１) 電気電子工学コース(注１) 情報工学コース	13：00～
	場所	松山市文京町３番　愛媛大学工学部		
（注1）事前相談の上，認められた志願者については，インターネットインタビューによる遠隔入試を行う。				

（注） 面接の詳細は，試験当日に指示します。

<table>
<tr><th></th><th>月日（曜）</th><th colspan="2">学力試験科目等</th><th>教 育 コ ー ス</th><th>時　　間</th></tr>
<tr><td rowspan="8">理学系</td><td rowspan="5">８月21日(水)</td><td rowspan="3">専門科目(注1)</td><td>物　　理</td><td>物理科学コース</td><td rowspan="2">９：00～12：00</td></tr>
<tr><td>地球科学</td><td>地球進化学コース</td></tr>
<tr><td>生　　物</td><td>生物環境科学コース</td><td>９：00～11：00</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="4">英　　語</td><td>物理科学コース(注2)</td><td></td></tr>
<tr><td>地球進化学コース(注3)</td><td></td></tr>
<tr><td>分子科学コース(注3)</td><td></td></tr>
<tr><td>生物環境科学コース(注3)</td><td></td></tr>
<tr><td>８月22日(木)</td><td colspan="2">面　　接
(口頭試問を含む。)</td><td>数理科学コース
物理科学コース
地球進化学コース
分子科学コース
生物環境科学コース</td><td>13：00～</td></tr>
<tr><td>場　　所</td><td colspan="4">松山市文京町２番５号　愛媛大学理学部</td></tr>
<tr><td colspan="6">（注１）各教育コースの専門科目の出題範囲は，別表３（30ページ）のとおり
（注２）物理科学コースは，TOEIC L&Rのスコアからの換算点を英語の得点としますので，英語の学力試験を行いません。
（注３）地球進化学コース，分子科学コース，生物環境科学コースは，TOEIC L&RあるいはTOEFL iBTスコアからの換算点を英語の得点としますので，英語の学力試験を行いません。</td></tr>
</table>

（注） 面接の詳細は，試験当日に指示します。

（４）出願書類等

ア　入学志願票（写真票，受験票）〔本研究科所定の用紙〕
イ　成績証明書〔出身大学（学部）長等が作成し，厳封したもの〕
ウ　卒業証明書又は卒業見込証明書〔出身大学（学部）長等が作成したもの〕
エ　写真〔出願前３か月以内に撮影した上半身，無帽，正面向きの写真（縦４cm×横３cm）を，写真票に貼ってください。〕
オ　検定料30,000円を最寄りの郵便局又はゆうちょ銀行（他の金融機関からの振込はできません。）の窓口から払込後（ATMは使用しないでください。），日附印を押した「振替払込受付証明書（大学提出用）」を「検定料払込証明書」に貼って提出してください。なお，払込済の検定料は，32ページの「12(3)検定料の返還について」の返還請求できる場合を除き，返還しません。
カ　受験票送付用封筒〔受験票の送付を希望する者は，本研究科所定の封筒にあて名及び郵便番号を記入の上，362円分の切手を貼ってください。〕
キ　住民票の写し〔出願時に日本に在住する外国人にあっては，市区町村長発行のもの〕
ク　**物理科学コース**

TOEIC L&Rのスコアからの換算点を，英語の得点としますので，TOEIC L&Rの成績証明書の原本とその写し（Ａ４サイズ）を1部提出してください。

成績証明書は，Official Score Certificate（公式認定証）とします。

提出できる成績証明書の試験日は，2017年４月以降とします。

TOEIC IP等の団体特別受験制度による成績証明書は利用できません。

ただし，やむをえない事情で出願期間に成績証明書原本とその写しが提出できない場合，試験当日に成績証明書原本及びその写しを提出することができます。

その場合は必ず23ページの出願書類等提出先へ問い合わせてください。

ケ　**地球進化学コース，分子科学コース，生物環境科学コース**

TOEIC L&RあるいはTOEFL iBTのスコアからの換算点を，英語の点数としますので，TOEIC L&RあるいはTOEFL iBTの成績証明書の原本とその写し（Ａ４サイズ）を１部提出してください。

成績証明書は，TOEIC L&RはOfficialScoreCertificate（公式認定証），TOEFL iBTはOfficial Score Report（公式スコア票）とします。

提出できる成績証明書の試験日は，2017年４月以降とします。

TOEIC IP等の団体特別受験制度による成績証明書は利用できません。

ただし，やむをえない事情で出願期間に成績証明書原本とその写しが提出できない場合，試験当日に成績証明書原本及びその写しを提出することができます。

その場合は必ず23ページの出願書類等提出先へ問い合わせてください。

（5）配点，採点・評価基準，合否判定基準

① 配点

〈工学系〉

教育コース	面接(口頭試問を含む。)	計
機械工学コース 環境建設工学コース 機能材料工学コース 応用化学コース 電気電子工学コース 情報工学コース	100	100

成績証明書はＡＢＣで評価し，合否判定の資料とします。

〈理学系〉

教育コース	面接(口頭試問を含む。)	計
数理科学コース	100	100

成績証明書はＡＢＣで評価し，合否判定の資料とします。

教育コース	専門科目	英語	面接(口頭試問を含む。)	計
物理科学コース 地球進化学コース 生物環境科学コース	200	100	100	400

物理科学コースの英語については，TOEIC L&Rのスコアからの換算点を得点とします。
なお，TOEIC L&Rのスコアは，以下の換算法にしたがって換算します。
ただし，換算点が100点を超える場合は100点とします。

TOEIC L&Rの場合　［換算点］＝［TOEIC L&Rスコア］／7

地球進化学コースの英語については，TOEIC L&RあるいはTOEFL iBTのスコアからの換算点を得点とします。なお，TOEIC L&RあるいはTOEFL iBTのスコアは，以下の換算法にしたがって換算します。ただし，換算点が100点を超える場合は100点とし，マイナスの場合は0点とします。

TOEIC L&Rの場合　［換算点］＝0.2×［TOEIC L&Rスコア］－30
TOEFL iBTの場合　［換算点］＝100×［TOEFL iBTスコア］／120＋20

生物環境科学コースの英語については，TOEIC L&RあるいはTOEFL iBTのスコアからの換算点を得点とします。なお，TOEIC L&RあるいはTOEFL iBTのスコアは，以下の換算法にしたがって換算します。ただし，換算点が100点を超える場合は100点とします。

TOEIC L&Rの場合　［換算点］＝［TOEIC L&Rスコア］／7
TOEFL iBTの場合　［換算点］＝100×［TOEFL iBTスコア］／120＋20

教育コース	成績証明書	英語	面接(口頭試問を含む。)	計
分子科学コース	100	100	100	300

分子科学コースの英語についてはTOEIC L&RあるいはTOEFL iBTのスコアからの換算点を英語の得点とします。以下の換算法にしたがって換算します。ただし、換算点が100点を超える場合は100点とします。

TOEIC L&Rの場合　［換算点］＝［TOEIC L&Rスコア］／7
TOEFL iBTの場合　［換算点］＝100×［TOEFL iBTスコア］／120＋20

② 採点・評価基準

	教育コース	科目等	採点・評価基準（一般的基準）
工学系	機械工学コース 環境建設工学コース 機能材料工学コース 応用化学コース 電気電子工学コース 情報工学コース	成績証明書	専門的学力をみます。
		面接(口頭試問を含む。)	基礎学力，目的意識，勉学意欲，自己表現力をみます。
理学系	数理科学コース	成績証明書	専門的学力をみます。
		面接(口頭試問を含む。)	目的意識，勉学意欲，自己表現力をみます。 口頭試問については，基礎学力をみます。
	物理科学コース 地球進化学コース 生物環境科学コース	専門科目	専門的学力をみます。
		英語	一般的学力をみます。
		面接(口頭試問を含む。)	目的意識，勉学意欲，自己表現力をみます。 口頭試問については，基礎学力をみます。
	分子科学コース	成績証明書	専門的学力をみます。
		英語	一般的学力をみます。
		面接(口頭試問を含む。)	目的意識，勉学意欲，自己表現力をみます。 口頭試問については，基礎学力をみます。

③　合否判定基準

	教育コース	判　定　基　準	同点者の順位決定方法
工学系	機械工学コース 環境建設工学コース 機能材料工学コース 応用化学コース 電気電子工学コース 情報工学コース	面接（口頭試問を含む。）の得点及び成績証明書で合否を判定します。 ただし，次のいずれかに該当する場合は不合格とします。 (1)面接（口頭試問を含む。）の得点が1/3未満，(2)成績証明書の評価がC	同点者は同順位とします。
理学系	数理科学コース	面接（口頭試問を含む。）の得点で合否を判定します。 ただし，次のいずれかに該当する場合は不合格とします。 (1)面接（口頭試問を含む。）の得点が1/3未満，(2)成績証明書の評価がC	同点者は同順位とします。
	物理科学コース 地球進化学コース 分子科学コース 生物環境科学コース	総合点で合否を判定します。	同点者は同順位とします。

7　別表

別表１

専門基礎科目の試験科目

教育コース	試 験 科 目 等	備　　考
応用化学コース	基礎化学	全問を必須解答する。試験範囲は，無機・分析化学，物理化学，有機化学のうち，以下に示す事項に関連する範囲とする。 原子の構造，分子の構造，化学結合，酸と塩基，共鳴，官能基とその性質，立体化学，アルケン・アルキンの性質と反応，有機化合物の基本反応，酸塩基平衡，キレート，沈殿，気体の状態方程式，熱力学の第１～第３法則，物理平衡と化学平衡，理想溶液

別表２

専門科目の試験科目

教育コース	試 験 科 目 等	備　　考
機械工学コース	力学	力学：質点の力学，質点系の力学，剛体の力学
環境建設工学コース	小論文	社会資本整備に関して出題する。
機能材料工学コース	物理基礎 化学基礎 材料基礎	左記の３科目必須。出題範囲は以下のとおりとする。なお，採点比率は１：１：１とする。 (力学分野)：質点の運動，運動の法則，力・仕事・エネルギー・運動量，単振動，減衰振動，強制振動， (電磁気学分野)：クーロンの法則，ガウスの法則，静電場と電位，導体と静電場，電流の周りの磁場。 (無機化学分野)：周期律表と電子軌道，化学結合，化学平衡，酸と塩基，酸化還元，元素各論，

		(熱力学分野)：熱力学第１法則・第２法則，内部エネルギー，物質の熱容量，エンタルピー，エントロピー，ギブスの自由エネルギーと平衡定数。 (材料組織学分野)：結晶構造，ミラー指数，原子配列の解析(X 線回析)，相律・相平衡，平衡状態図と標準組織。
応用化学コース	無機・分析化学 物理化学 有機化学 高分子化学 生物化学 化学工学	左記の６科目より各２題（計12題）出題される問題から，専門科目の試験時間に２題を選択して解答する。各試験科目の試験範囲は以下のとおりとする。 無機化学：専門基礎科目の範囲及び元素各論，無機化合物の構造と性質，配位化学・配位子場理論 分析化学：溶媒抽出，クロマトグラフィー，分光分析 物理化学：電気化学の基礎，量子化学の基礎，固体化学の基礎，反応速度論 有機化学：有機化合物の性質及び反応，有機化合物の合成，反応機構，機器分析 高分子化学：縮合重合と重付加，ラジカル重合，イオン重合，開環重合，高分子反応，付加縮合，孤立高分子の性質，高分子液体，高分子固体 生物化学：酵素反応速度論，活性化エネルギー，糖，アミノ酸，糖質，タンパク質，核酸，エネルギー代謝，酵素阻害と活性調節，遺伝情報複製と修復，ＲＮＡ合成とその制御，タンパク質合成とその制御，細胞内情報伝達，免疫システム，感染のメカニズム，遺伝子工学 化学工学：流動操作，熱移動操作，膜分離，機械的分離操作，蒸留，ガス吸収，液液抽出，晶析，吸着，調湿，乾燥
電気電子工学コース	電気回路 電磁気学	左記の２科目必須。出題範囲は以下のとおりとする。 電気回路：一般線形回路理論，基本諸定理，二端子対回路，１階及び２階微分方程式で表される回路の過渡解析，ラプラス変換による過渡解析，アナログ電子回路（ただし，ダイオード，バイポーラトランジスタ及びオペアンプを含む回路に限る。） 電磁気学：静電界，定常電流，静磁界，電磁誘導，マクスウェルの方程式
情報工学コース	情報数学 情報理論 ソフトウェア 計算機システム オペレーティングシステム	左記の５科目必須。出題範囲は以下のとおりとする。 情報数学：集合，写像，関係，代数構造，順序構造，グラフ 情報理論：情報量，符号化，通信路容量，ハミング距離 ソフトウェア：データ構造，アルゴリズム，計算量 計算機システム：ブール代数，論理回路，計算機アーキテクチャ オペレーティングシステム：プロセス管理，メモリ管理，ファイルシステム

別表３

専門科目の試験科目

教育コース	試 験 科 目 等	備　　考
数理科学コース	線形代数 微積分 集合と位相 代数学 幾何学 位相空間論 解析学（微分方程式論を含む。） 確率統計 応用解析学 情報数理学 物理学（力学，電磁気学を出題範囲とする。）	左記の線形代数，微積分，集合と位相の３科目（３題）は必須解答し，残り８科目から１科目（１題）を選択解答する。
物理科学コース	力学 電磁気学 熱統計力学 量子力学	左記の４科目を解答する。
地球進化学コース	岩石学 鉱物学 地質学 古生物学 地球内部物性 地球惑星物理学 海洋学 生物学	左記の科目のうち，岩石学・鉱物学から２題，地質学・古生物学から２題，地球内部物性・地球惑星物理学から２題，海洋学から１題，生物学から１題が出題される。 上記の計８題のうち，４題を解答する。
分子科学コース	物理化学 構造化学 有機化学 生物化学 無機化学 分析化学 生物学（化学に関連の深い生化学系の生物学） 物理学（力学，電磁気学を出題範囲とする。）	左記の８科目から４科目を選択して解答する。
生物環境科学コース	生物学（分子生物学，細胞学，生理学，発生学，遺伝学，生態学，形態学，環境科学） 化学（生物学に関連の深い分野） 地球科学	生物学に関する参考書の指定した章（出題範囲については、以下のウェブサイトを参照してください http://www.sci.ehime-u.ac.jp/examination/graduateex.html）から４題，化学および地球科学から各１題，計６題が出題される。 そのうち２題を選択して解答する。 また，３題目として，入学後研究したいと考えているテーマに関し，その背景，問題へのアプローチの方法，予想される結果と意義について論述する問題が出題される。

８　受験上の注意

⑴　試験日前日に，試験場の掲示場に，試験時間割，試験室，試験場本部の所在地等について掲示します。あらかじめ必要事項を確かめておいてください。なお，試験室の下見は認められません。

⑵　試験開始時刻に遅刻した場合は，試験開始時刻後30分以内の遅刻に限り，受験を認めます。ただし，試験時間の延長は行いません。

⑶　受験中は，受験票を必ず携帯してください。受験票を紛失又は試験当日忘れた場合には，早めに試験場本部に行き，仮受験票の交付を受けてください。

⑷　試験室内では，携帯電話等の電子機器類は電源を切りかばんにしまってください。試験時間中に，これらを身につけていたり手に持っていたりすると不正行為となることがあります。

⑸　不正行為を行った場合は，当該試験の受験を無効とし，それ以後の科目についての受験も認めません。

⑹　受験票は，入学手続，追加合格及び入学試験個人成績等開示請求の場合も必要となりますので，試験終了後も大切に保管しておいてください。

９　合理的配慮を希望する入学志願者の出願

合理的配慮を希望する入学志願者で，受験上の配慮を必要とする場合は，出願の前に，あらかじめ出願書類等提出先（５ページを参照）に次のとおり相談してください。

⑴　相談の期限

原則として令和元年７月９日(火)まで

なお，体幹及び両上下肢の機能障がいが著しい者で，代筆解答を希望するものは，できるだけ早い時期に相談してください。

⑵　相談の方法

相談申込書（様式任意）の提出により行います。必要な場合は，志願者との面談等を行います。

⑶　相談に必要な書類等

①　相談申込書（様式任意）

相談申込書は，志願者の氏名，住所，電話番号，出身学校名，志願コース，障がい等の状況，受験上の配慮を希望する事項等，出身学校における学習上の配慮及び生活状況等について記載してください。

②　医師の診断書等

医師の診断書（写しでも可）又は身体障害者手帳の写しなどで障がい等の状況が確認できるものを添付してください。

10　入学手続

⑴　入学の時期

入学式

令和元年９月24日㈫

※ただし，令和元年９月24日㈫から９月30日㈪までの間に入学資格を得る者は，本学の学則の定めるところにより，入学日は令和元年10月１日㈫になります。

⑵　入学手続に必要なもの

①　入学料……282,000円

②　本研究科所定の入学手続書類

⑶　入学手続期間

令和元年９月４日㈬～９月10日㈫（土曜日，日曜日を除く。）

持参する場合は上記期間の午前９時～午後５時までとします。

11　初年度の学費・諸経費等

⑴　学費

入学料……282,000円（入学手続時に，納入します。）

授業料……前期分267,900円，後期分267,900円【年間535,800円】

⑵　諸経費

後援会費……10,000円

校友会費……20,000円（学部入学時に支払っている場合を除く。）

学生教育研究災害傷害保険料……1,750円

学生教育研究賠償責任保険料……680円

（注）１　授業料は，入学後支払うことになりますが，納入時期については別途お知らせします。

２　在学中に授業料改定が行われた場合には，改定時から新授業料が適用されることになります。

３　入学料，授業料とも経済的理由により納付が困難でかつ学業優秀な者又は風水害等の災害を受けるなどの特別な事情がある者は，選考の上，全額又は半額の免除が認められる制度があります。なお，徴収猶予制度もあります。

４　日本人で日本学生支援機構の奨学金の貸与を希望する者は，選考の上，奨学金が貸与されます。

第一種……無利子　50,000円，88,000円から選択（令和元年度）

第二種……有利子５万円，８万円，10万円，13万円，15万円から選択（令和元年度）

12　その他

⑴　学生募集要項（出願書類を含む。）の請求は，自己のあて先を明記し，380円分の切手を貼った返信用封筒〔角形２号（33cm×24cm）〕を同封して，出願書類等提出先に請求してください。封筒の表には，必ず「令和元年９月入学博士前期課程募集要項請求」と朱書してください。

⑵　出願書類受理後は，いかなる理由があっても書類の変更は認めません。また，出願書類は返還しません。

⑶　検定料の返還について

次に該当した場合は納入済みの検定料を返還します。

① 検定料を納入したが，出願しなかった場合
② 検定料を誤って二重に納入した場合又は誤って所定の金額より多く納入した場合
③ 出願書類等を提出したが，出願が受理されなかった場合

返還請求の方法

上記①又は②に該当した場合は，下記の連絡先に連絡してください。「検定料返還請求書」を送付しますので，必要事項を記入の上郵送してください。

上記③の場合は，出願書類等返却の際に「検定料返還請求書」を同封しますので，必要事項を記入の上郵送してください。

連絡先　〒790−8577　松山市道後樋又10番13号
愛媛大学財務部財務企画課出納チーム
電　話　089−927−9074，9077

⑷ 出願書類に虚偽の記載があった者は，入学許可後であっても入学の許可を取り消すことがあります。

⑸ 個人情報の取り扱いについて

出願書類に記載された氏名，住所等の個人情報は，本学における出願の事務処理，願書に不備等があった場合の連絡，試験の実施，合格発表，合格された場合の入学手続関係書類の送付等のために利用します。

なお，出願書類等に不備があった場合には，その訂正・補完を迅速に行っていただくために，本学を受験されること及び提出した出願書類等に不備があることを，保護者等又は所属学校に通知する場合があります。

また，本選抜に係る個人情報は，合格者の入学後の教務関係（学籍，修学指導等），学生支援関係（健康管理，奨学金申請等），授業料等に関する業務及び調査・研究（入試の改善や志願動向の調査・分析等）を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。

13　問題，正解・解答例又は出題意図（学力試験）の開示

本研究科では，令和元年度入学者選抜試験の「問題，正解・解答例又は出題意図（学力試験）」の開示を次のとおり行います。

期　日　令和元年10月以降

請求先及び請求方法

〈工学系〉

- インターネットからの請求

  http : //www.eng.ehime-u.ac.jp/forum/master/

  にアクセスしてメールで請求できます。

- 直接又は郵送での請求

  下記の窓口又は郵送（400円分の切手を貼った角形２号の返信用封筒を同封）で請求してください。

  〒790-8577　松山市文京町３番
  愛媛大学教育学生支援部 教育支援課 工学部チーム

〈理学系〉

- 直接又は郵送での請求

  下記の窓口又は郵送（400円分の切手を貼った角形２号の返信用封筒を同封）で請求してください。

  〒790-8577　松山市文京町３番
  愛媛大学教育学生支援部 教育支援課 理学部チーム

（注）　理学系における「正解・解答例又は出題意図」の開示は，令和元年10月11日（金）までに請求があったもののみ対応します。

14　理工学研究科の概要

（1）研究科の組織

理工学研究科は，下表のように博士課程として工学系及び理学系の専攻によって構成されています。各専攻は，専任の教授，准教授等により組織されています。また，沿岸環境科学研究センター，地球深部ダイナミクス研究センター，プロテオサイエンスセンター，総合情報メディアセンター，学術支援センター，宇宙進化研究センターの協力も受けています。

さらに船舶工学特別コース，ＩＣＴスペシャリスト育成コースでは，関連企業の現職の技術者でもある客員教員等の協力も受けています。

この理工学研究科の博士課程には，博士前期課程と博士後期課程の課程が設置されており，特に博士前期課程は，理学部及び工学部から継続する教育を目指し，各専攻にそれぞれ教育コース制を取り入れています。

理　工　学　研　究　科

理工学研究科	博士後期課程	生産環境工学専攻			物質生命工学専攻		電子情報工学専攻			数理物質科学専攻			環境機能科学専攻		先端科学特別コース
		機械システム学 エネルギー変換学 生産システム学 社会基盤工学 都市経営工学 水圏環境工学			材料物性工学 材料開発工学 反応化学 物性化学 生物工学		電気エネルギー工学 電子物性デバイス工学 通信システム工学 情報システム工学 知能情報工学 応用情報工学			数理科学 基礎物理科学 物性科学 地球進化学			物質機能科学 生命物質科学 生物機能科学 生態環境科学		
	博士前期課程	生産環境工学専攻			物質生命工学専攻		電子情報工学専攻			数理物質科学専攻			環境機能科学専攻		
		機械工学コース	環境建設工学コース	船舶工学特別コース	機能材料工学コース	応用化学コース	電気電子工学コース	情報工学コース	ICTスペシャリスト育成コース	数理科学コース	物理科学コース	地球進化学コース	分子科学コース	生物環境科学コース	

（2）研究科の概要及び担当教員

生産環境工学専攻
機械工学コース

講座	分野	研究概要	担当教員 教授	担当教員 准教授(講師)
機械工学	機械システム学	本分野は，機械力学，制御工学およびロボット工学などの研究分野で構成されており，機械の強度や機構設計，機械の運動制御に関わる問題について研究を行っています。 1．機械・構造物の力学的挙動に関する研究 衝撃力による材料の変形と強度，材料の組織構造と力学的性質，形状の最適設計，波動伝播による材料の粘弾性特性の同定 2．機械制御の知能化および流体制御機器開発に関する研究 介護ロボット等を目指した人間,機械協調運動系の研究,空気圧サーボ系の高機能化，ファジィ制御などの制御理論の機械制御への応用 3．ロボティクス・メカトロニクスおよび力学解析 人間型ロボット，ロボットアーム，移動車ロボット，人工筋肉，知的センシング，人工知能，マルチボディ・ダイナミクス，振動・制御に関する研究	岡本　伸吾 柴田　　論 李　　在勲 山本　智規	[有光　　隆] 玉男木隆之
	エネルギー変換学	本分野には，熱工学，熱および物質移動学，流体工学，熱流体力学，機械数理などの研究分野があり，機械的エネルギーの変換，エネルギーの有効利用，工学への数学的アプローチに関わる問題について研究を行っています。 1．熱工学および水素エネルギーの有効・安全利用に関する研究 熱工学に関わる諸現象の解明，特に水素や代替燃料の天然ガス等のエネルギーの高度有効・安全利用燃焼技術，さらにセンシングに基づく漏洩水素拡散のリスク緩和手法に関する研究 2．熱と物質の移動に関する研究 伝熱機器や生産加工工程などで生じる諸問題の解決，およびプラズマや音響エネルギーの有効利用に関する研究 3．流体の運動に関する研究 高分子流体や繊維分散流体，界面活性剤などの非ニュートン流体の流動メカニズムの解明と応用に関する研究。管内乱流の高レイノルズ数領域における組織的構造の解明に関する研究 4．微分方程式の研究 工学における数学的問題，特に微分方程式の理論と数値計算法の研究	野村　信福 保田　和則 中原　真也	松浦　一雄 向笠　　忍 岩本　幸治 宗野　惠樹 (若杉　勇太)
	生産システム学	本分野は，材料力学，機器材料学及び特殊加工学などの研究分野で構成されており,主に機械構造用材料の強度特性とその評価,新材料創製とその応用について研究を行っています。 1．機械／構造材料の強度信頼性に関する研究 航空宇宙機，自動車，プラント，電子機器などに用いられる先進構造材料の破壊機構・強度向上機構の解明および構造健全性診断技術の確立 2．材料物性・強度および力学解析に関する研究 過酷環境(高圧力，高ひずみ場，高温，低温，腐食)下における種々の先端材料や機械・電子構造部品・製品のナノからマクロにわたる物性，力学的特性，材料・構造強度および信頼性評価に関する研究 3．高機能性新材料および表面・界面の創製とその工学的応用に関する研究 ダイヤモンド膜やカーボンナノチューブなどの新材料の物理的・化学的作製方法の開発，材料の表面・界面現象の原子論的解明の研究 4．船の性能および装備品に関する研究 環境に優しい船の開発，船の安全航行および海洋開発に関する研究	黄木　景二 高橋　　学 豊田　洋通 田中　　進	(堤　　三佳) 朱　　霞 松下　正史

[　]は令和３年３月31日定年退職予定の教員を示します。

生産環境工学専攻
環境建設工学コース

講座	分野	研究概要	担当教員 教授	担当教員 准教授(講師)
環境建設工学	社会基盤工学	鋼・コンクリート構造物や土構造物などの土木施設を建設するための材料，設計法，施工法に関する研究を行っています。それぞれの研究テーマの主なものは， 構造工学関係では，構造部材の動特性の評価，波動および振動の数値シミュレーション，電磁波・超音波による非破壊検査，IoTを活用したヘルスモニタリング， 地震工学関係では，構造物の地震応答，地盤と構造物の動的相互作用と数値シミュレーション，液状化，動的特性計測法， 地盤工学関係では，土の圧縮・せん断特性，地盤および構造物の静的動的安定解析法，基礎の支持力，各種地盤災害の機構と対策，廃棄物処理地盤の工学的特性，沿岸域低平地や埋立地の液状化，破砕帯地すべりの土質工学的研究， コンクリート構造物関係では，鉄筋コンクリート部材の力学的挙動解析，劣化機構などの時間依存性挙動，コンクリート中での物質移動現象，コンクリート分野における環境負荷低減技術，非破壊試験を用いた耐久性能および健全性評価， 岩盤工学関係では，岩盤の物性や力学的挙動，岩盤不連続面の熱－水－応力－化学連成問題，廃棄物の建設分野での利用に関する研究です。	氏家　勲 岡村　未対 中畑　和之 安原　英明	森　伸一郎 木下　尚樹 ネトラ プラカシュ パンダリ 河合　慶有
	都市経営工学	都市域における生活・生産環境の計画や開発保全・防災に関する研究を行っています。それぞれの研究テーマの主なものは， 都市・交通計画学関係では，交通施設整備と都市・地域計画，交通需要解析と交通政策の評価，交通事故分析と安全対策，地域防災計画，救急搬送と支援研究，合意形成支援システム，システムズアプローチ，土木計画論，インフラ維持管理，都市・地域景観分析，都市・地域デザイン，歩行者・運転者の挙動分析， 地域マネジメント関係では，社会的ジレンマ，社会的コンフリクト分析，社会的ネットワーク分析，中心市街地活性化と都市計画に関する研究です。	吉井　稔雄 松村　暢彦	二神　透 倉内　慎也 羽鳥　剛史 (白柳　洋俊) (坪田　隆宏)
	水圏環境工学	都市や河川を含む流域，海岸域，沿岸海域などの水圏における自然環境特性を把握して，これらの領域での種々の開発行為と環境保全の調和および親水域の環境創造を目指すとともに，流域や沿岸域の防災機能を向上させるための研究を行っています。それぞれの研究テーマの主なものは， 水工学関係では，河道の流砂現象，河床変動の数値シミュレーション，河川構造物周辺の流れの可視化，地下水の流出解析，渇水対策シミュレーション・モデル， 大気・水環境関係では，流域における水環境システム，都市の水文・気象シミュレーション，局地気象の観測技術，再生可能エネルギーの応用開発， 保全生態学関係では，生物多様性評価・保全，河川生態系の保全・再生，河川生物の分布・動態解析，DNA種分類，疫病生態学，人為インパクトの河川環境への影響評価， 海岸工学関係では，高潮・波浪・津波の数理解析，プラスチックによる海洋汚染，海洋レーダを用いた沿岸地域防災システム， 沿岸海洋学関係では，海水交換と物質輸送，貧酸素水塊，赤潮，急潮，海洋数値シミュレーション，地球温暖化の沿岸地域への影響， 海岸地下水関係では，海岸付近の地下水汚濁物質の流動特性，海洋・陸水環境の保全対策法に関する研究です。	日向　博文 森脇　亮 渡辺　幸三	〈井内　國光〉 (畑田　佳男) 門田　章宏 三宅　洋

〈　〉は令和２年３月31日定年退職予定の教員を示します。

環境建設工学コースでは，環境建設工学に関する多様で幅広い教育・研究環境を提供し，先端的かつグローバルに活躍できる研究者・技術者を育成することを目指し，ガジャマダ大学（インドネシア）とのダブルディグリー・プログラムを2016年度より実施しています。本ダブルディグリー・プログラムは愛媛大学とガジャマダ大学の両校で講義を受け修士論文の研究を行い，修了時に両方の大学から同時に学位（工学修士）を取得できる標準修学期間2.5年間のプログラムです。このプログラムは環境建設工学コースに入学した学生が選択できます。

物質生命工学専攻
機能材料工学コース

講座	分野	研究概要	担当教員	
			教授	准教授(講師)
機能材料工学	材料物性工学	1．量子材料学 ナノ材料，半導体，磁性体および非酸化物系セラミックスの研究を行っており，それらの作製法の開発ならびに機能発現機構の解明などを対象とします。 2．固体物性学 メカニカルアロイング法・溶解法などを用いて作製した合金・化合物の物性研究を行っており，各種磁性や伝導性の微視的発現機構などを対象とします。 3．物性制御工学 材料の諸性質を支配する微細構造の制御を原子スケールの視点などから行っており，金属，合金ならびに複合材料の相変態，析出挙動および機械的性質の制御，金属間化合物の相安定性の解析，半導体中の格子欠陥の生成挙動ならびに各種磁性材料などを対象とします。 4．電気・電子物性工学 誘電・絶縁材料，導電性高分子，有機半導体の電気・電子特性について研究を行っており，絶縁材料の破壊現象や電界・電荷分布計測，導電性高分子の機能制御，有機半導体コロイドの光・電子デバイスへの応用などを対象とします。 5．材料プロセス工学 機能性ガラス，スラグおよびセラミックスの研究を行っており，作製法や光学特性，熱的特性および化学的特性と微視的構造の相関性などを対象とします。	[田中　寿郎] 平岡　耕一 〈藤井　雅治〉 武部　博倫 小林　千悟 井堀　春生 斎藤　全	山室　佐益 阪本　辰顕 (全　現九) (佐々木秀顕) (松本　圭介)
	材料開発工学	1．環境・エネルギー材料工学 地球や人に優しい材料の研究，具体的には医療・燃料電池・汚染ガスを検知するための化学センサ・汚染ガスをきれいにする触媒・放射性セシウムの除染や回収などに用いる様々な新しい機能性ナノ微粒子・複合材料・多孔質材料などの合成や応用の研究などを行っています。 2．構造材料工学 合金元素の種類と添加量の最適化，および，加工・熱処理プロセスを駆使し，機械的特性（強度・延性・靭性）に優れた構造用金属材料の開発を行っている。また，転位論とフラクトグラフィーの観点から，機械的特性向上のメカニズムを解明している。 3．材料接合工学 素材から製品への「もの造り」に欠かせない溶接・接合技術の研究開発を行っており，溶接の難しい高機能材料の接合技術の開発，インテリジェント制御による溶接の高機能技術の開発などを対象とし，溶接・接合の高度化を目指します。	青野　宏通 薮谷　智規 板垣　吉晃	水口　隆

〈　〉は令和２年３月31日定年退職予定の教員を示します。
[　]は令和３年３月31日定年退職予定の教員を示します。

物質生命工学専攻
応用化学コース

講座	分野	研究概要	担当教員 教授	担当教員 准教授(講師)
応用化学	反応化学	反応化学分野は，有機分子・高分子を対象として，化合物の反応・合成と，構造・物性の両面から，新たな応用を拓く研究を行っています。特に，以下のテーマを中心として，機能性有機分子の開発と触媒・合成反応開発，高分子合成法と機能性高分子開発を行っています。 1．有機分子性金属の開発 2．多段階酸化還元を示すπ電子系の合成 3．新しい有機合成手法の開発 4．高効率分子変換触媒の開発 5．新しい高分子合成法の開発 6．新しい機能性高分子の開発 7．バイオマス関連物質の触媒変換	御崎　洋二 井原　栄治	林　　実 白旗　崇 (伊藤　大道) (下元　浩晃) (太田　英俊)
	物性化学	物性化学分野は，以下のテーマを中心として新規な機能性物質の合成，開発およびそれらの機能性発現機構並びに応用について研究を行っています。 1．酸化物ガラスおよび融体の構造－酸・塩基と酸化・還元特性 2．高分子膜への気体の吸着機構 3．湿度センサおよび各種ガスセンサの開発の研究 4．イオン伝導セラミックおよび燃料電池電極の開発 5．機能性触媒および環境触媒に関する研究 6．金属・有機ナノ複合構造の光学特性 7．レーザーによる新規ナノ粒子材料の創成 8．顕微レーザー分光を用いたナノ固体反応の解析	八尋　秀典 朝日　　剛 松口　正信	山下　　浩 山口　修平 (山浦　弘之) (石橋　千英)
	生物工学	本分野では，生命現象を化学反応として捉え，そのメカニズム解明の基礎的研究から，生物機能の有効利用技術と化学装置の開発にまで至る幅広い研究を行っています。 1．タンパク質生合成メカニズムの解明 2．リボソームの構造と機能に関する研究 3．生体外タンパク質生産システムの開発 4．微生物を用いた排水の処理特性の解明 5．余剰汚泥の処分法に関する研究 6．凍結濃縮分離操作を効率よく行うための装置の開発 7．無細胞系を利用した生体分子工学技術の開発 8．マラリアワクチン開発 9．無細胞系を用いたゲノム解析科学 10．タンパク質合成系の再構成 11．核酸関連タンパク質の構造と機能 12．無細胞系を利用した膜タンパク質解析系の開発 13．ＲＮＡとＲＮＡ関連タンパク質の解析 14．抗体医薬開発のための技術開発	坪井　敬文 堀　　弘幸 高井　和幸 澤崎　達也	川崎　健二 高島　英造 竹田　浩之 (野澤　　彰) (平田　　章) (高橋　宏隆) (冨川　千恵)

電子情報工学専攻
電気電子工学コース

講座	分野	研究概要	担当教員	
			教授	准教授(講師)
電気電子工学	電気エネルギー工学	本分野では，電気エネルギーの発生輸送利用に関する研究を中心とした以下のような基礎的及び応用的研究を行っています。 1．電気絶縁材料の破壊現象，空間電荷分布測定および劣化診断に関する研究。高電圧パルス放電を利用した排ガス・排水処理に関する研究 2．離散力学系およびその結合系のエルゴード理論的研究並びにカオス・フラクタルに関する数理的基礎研究とその応用 3．パルス技術を利用した電気から光へのエネルギー変換とプラズマのバイオ応用の研究。具体的には，プラズマ遺伝子導入法，パルス放電光源の高効率化と無水銀化，レーザ分光や光計測によるプラズマの過渡解析とシミュレーションの開発 4．誘電体材料・機能性材料に関する実験および連続体理論や電磁気学に基づく解析	門脇　一則 神野　雅文	井上　友喜 尾崎良太郎 本村　英樹 (池田　善久)
	電子物性デバイス工学	本分野では，半導体の物性，電子素子に関する基礎から応用にわたる幅広い研究を行っています。具体的な研究概要は次のとおりです。 1．化合物半導体の単結晶や薄膜の作製，レーザ分光学を中心とした半導体結晶とデバイスの新しい評価技術の開発，新しい発光・受光素子及び高効率薄膜太陽電池の基礎研究，自己形成法による酸化物半導体ナノ構造の研究 2．超高真空装置を用いた原子レベルでの結晶成長技術を用いた高品質半導体量子ナノ構造の作製，ナノ空間に閉じ込められた電子や正孔の電気的性質・光学的性質の解明，ナノ構造を用いた新機能半導体デバイス（半導体レーザ，超高速トランジスタ・ダイオード）に関する研究	白方　　祥 下村　　哲	寺迫　智昭 石川史太郎
	通信システム工学	様々な情報を高速，大容量，高密度，高信頼度，廉価に伝送，記録，処理するための情報通信システムに対する社会の要請は留まるところを知らない。本分野では，こうした要請に応えるため，基礎理論から応用まで，情報通信システムに関する幅広い研究を行っています。主な研究内容を列挙すると以下のとおりです。 1．光や電磁波の伝搬現象を制御する素子やシステムの科学やその応用技術に関する研究 2．ハードディスクドライブ，光ディスクドライブ等の情報ストレージシステムの高密度化を目指した，符号化方式，信号検出方式，復号化方式など信号処理方式の研究 3．マルチメディア通信を支える技術であるチャネルモデルと通信路符号化及び通信方式，またその応用としての電子通信エネルギ技術とスマートコミュニティに関する理論的及び実験的研究	岡本　好弘 都築　伸二	市川　裕之 仲村　泰明

電子情報工学専攻
情報工学コース

講座	分野	研究概要	担当教員	
			教授	准教授(講師)
情報工学	情報システム工学	計算機によって構成された情報システムは，今日の情報社会に広く浸透している。したがって，情報システムの信頼性を向上させること及び計算機を高度に活用するシステムの開発に対する社会的な要請に応じる研究は必要不可欠であります。本分野では，これら情報社会を支える技術の確立を意図した教育・研究を行っています。具体的には，情報システムにおける高信頼化技術（計算機を利用した論理回路の設計法の開発，論理回路の検証，診断法の開発，フォールトトレラントシステムの設計），新時代に対応するソフトウェアシステム（高性能計算システムの設計，マルチメディア環境，並列計算環境における数式処理システムの開発，数値・数式融合算法の開発），並列・分散処理システム（マルチコンピュータ環境における負荷分散，スケジューリング，分散データベースの同時実行制御，マルチエージェント，情報配信システム），システム最適化（数理計画法やメタ・ヒューリスティクス，ルール・ベースシステムの開発およびそれらの応用）に関する研究などを行っています。	小林　真也 高橋　寛 樋上　喜信	甲斐　博 (遠藤　慶一) (王　森岭) (稲元　勉)
	知能情報工学	計算機の処理能力の向上に伴い，計算機に処理させたい内容もより高度で多様なものになりつつあります。しかしながら，人間が与えたプログラムを単に高速かつ正確に実行するだけの現在の計算機では，その利用範囲に限界があります。高度で多様な問題を柔軟に処理するためには，人間の脳のように「膨大な知識を適切に組み合わせて新たな知識を作り出すとか，多くの例題から問題の解き方自体を発見するというような知的な処理」が不可欠となります。本分野では，このような知的な処理に関する研究として，人間のもつ知識をコンピュータ上で表現し利用する人工知能（知識工学）の研究，脳の情報処理方式に類似した学習機能をもつニューロコンピュータの研究，脳神経系の情報処理システムの研究などを行うとともに，これらの応用研究として，コンピュータを用いた画像処理の研究，バーチャルリアリティ，ヒューマンインターフェイス，電子透かし法の研究，情報セキュリティの研究，自然言語処理の研究などを行っています。	柳原　圭雄 二宮　崇	宇戸　寿幸 (井門　俊) (木下　浩二) (一色　正晴)
	応用情報工学	現代社会を支えるコンピュータ利用技術の基礎には様々な数理的方法があります。逆に，数理的方法に基礎を持たないコンピュータ利用技術はあり得ません。本分野では，このような視点から，科学技術計算の方法を中心に，応用数学，数値解析，ハイパフォーマンスコンピューティング，情報ネットワーク，情報メディア等の研究を行っています。また，情報システムの設計・構築，管理・運用に関する研究も行っています。多少具体的には，数理物理学の研究，理工学に現れる偏微分方程式の研究，代用電荷法と数値等角写像に関する研究，高精度計算，スーパーコンピュータを用いた大規模シミュレーション，情報の可視化，数学ソフトウェアの開発，情報ネットワークの構成と利用に関する研究，ソフトウェアの品質管理に関する研究，マルチメディア情報の生成，伝送，利用に関する研究等があります。	伊藤　宏 野口　一人 川原　稔	岡野　大 黒田　久泰 阿萬　裕久 安藤　和典 (森岡　悠)

電子情報工学専攻
ICTスペシャリスト育成コース

講座	概　　要	担当教員	
		教　授	准教授(講師)
ＩＣＴスペシャリスト育成	このコースの修了生の将来像は，ICTを活用して新たな付加価値を生み出せる人材です。ICTスペシャリストとは，実践的なICTスキルと多角的な視点から物事を捉える力を具備し，ICTシステムの企画，構築や企業内システムの情報化推進を進めるリーダーとなれる人です。このコースは，ICTスペシャリストを経て，さらには，現場の把握力や実践力といった，より主導的な立場を果たす高度な能力を獲得し，社会を変革できるトップ人材となることを目指している人たちのための教育コースです。 その実現のために，このコースでは，高度なICTスキルと知識の習得を目的とした授業，PBLや長期インターンシップ等による問題解決型演習・実習，ディスカッションやプレゼンテーションを取り入れICTの視点から様々な物事を取り上げる発展的リベラルアーツ教育を取り入れています。これにより，ICT分野の専門的技術力に加え，技術者として共通に求められる基礎力の養成を実現しています。 また，産官学連携による教育もこのコースの大きな特徴の一つであり，ICT関連企業の協力による現役技術者による実践的教育や行政官による情報通信政策に関する講話などを取り入れています。さらに，毎年，企業の人材育成・人事担当者，技術者等を加えたカリキュラム検討委員会で授業内容やカリキュラムの検討を行い，コースで行う教育のスパイラルアップを図ることで，卒業生がリタイアまでのキャリアパスの中で輝き続ける技術者となるための教育を実践しています。	岡本　好弘 小林　真也 高橋　寛 都築　伸二 野口　一人 樋上　喜信	宇戸　寿幸 甲斐　博 黒田　久泰 (木下　浩二) (遠藤　慶一)

数理物質科学専攻
数理科学コース

講座	研　　究　　概　　要	担　当　教　員		
		教　授	准教授	講　師
数理科学	数理科学の諸分野の理論的研究を行っています。整数論や表現論などの代数学，数理論理学，位相群論を含めた位相空間論，離散群の幾何学，力学系理論，微分方程式の解の構造や性質を研究する微分方程式論，近年数理ファイナンスなど様々な応用をもつ確率論，また，数値解析，時系列解析，並列計算，パターン認識に関する応用数学など幅広い分野の研究を行っています。	ｼｬｸﾏﾄﾌ　ﾃﾞｨﾐﾄﾘ 中川　祐治 土屋　卓也 平野　幹 内藤　雄基 松浦　真也	[平出　耕一] 石川　保志 柳　重則 大塚　寛 山﨑　義徳 山内　貴光 尾國　新一 猪奥　倫左	藤田　博司

[　]は令和３年３月31日定年退職予定の教員を示します。

物理科学コース

講座	研　　究　　概　　要	担　当　教　員		
		教　授	准教授	講　師
物理科学	物理学の諸問題の理論的研究，宇宙の観測研究，固体物性の実験研究を行っています。具体的な研究題目を列挙します。 ・場の量子論，格子ゲージ理論および素粒子の統一理論 ・相平衡の化学物理と緩和現象に関する理論 ・強相関電子系における金属・磁性・超伝導理論 ・散逸力学系などの非線形物理学 ・宇宙プラズマ爆発現象の理論的研究 ・各種磁性材料の基礎研究 ・微小共振器構造の光物性研究 ・液中プラズマの基礎および応用研究 ・すばる望遠鏡やＸ線等の観測による宇宙・銀河・ブラックホールなどの構造と進化の研究	宗　博人 粟木　久光 渕崎　員弘 前原　常弘 寺島　雄一 長尾　透	飯塚　剛 小西　健介 清水　徹 中村　正明 鍛冶澤　賢 松岡　良樹	近藤　久雄 近藤　光志 宮田　竜彦

地球進化学コース

講座	研究概要	担当教員		
		教授	准教授	講師
地球進化学	地球が形成されてから現在に至る地球の歴史および変遷発展法則の解明や現在の地球の性質の解明を主たる研究課題とします。地球の表面構造と地球史における進化過程，脊椎動物の進化，地殻変動，島弧変動帯の岩石学的構造とテクトニクス，地殻－マントルの相互作用とダイナミクス，地球環境変動史，黒潮と沿岸海域との相互作用や物質循環，沿岸・陸棚域における海洋循環の力学過程に関する研究，マントル対流に関する研究，地球深部物質の物性とダイナミクスに関する実験的理論的解明，環境汚染およびその修復に関する研究などを行っています。	〈入舩　徹男〉 榊原　正幸 土屋　卓久 堀　利栄 郭　新宇 森本　昭彦 亀山　真典 大藤　弘明 鍔本　武久	〈森　寛志〉 岡本　隆 土屋　旬 西原　遊 加　三千宣 河野　義生	境　毅 出倉　春彦 大内　智博 西　真之 楠橋　直 齊藤　哲 吉江　直樹 アブラジェビッチ　アレクサンドラ

〈　〉は令和２年３月31日定年退職予定の教員を示します。

環境機能科学専攻
分子科学コース

講座	研究概要	担当教員		
		教授	准教授	講師
分子科学	物性化学，構造化学，有機化学，分析化学・生物化学，環境化学の５分野を軸に連携しながら研究を行っています。物性化学分野では固体物質の巨視的な性質（触媒作用，電気・磁気特性など）に注目し，その機構の分子論的解明，構造解析，新材料の創製に関する研究をしています。構造化学分野では，高度分光技術を駆使した化学反応の素過程の解明，内殻電子の光励起がもたらす原子の組み替え，半導体表面構造・物性の解明，光をトリガーとしたスピン配列変化などに関する研究をしています。有機化学分野では，電子機能材料を志向した新規有機化合物の合成，生理活性物質の探索及び合成などの研究をしています。分析化学・生物化学分野では，タンパク質のバイオ分析法の開拓，新機能性生体分子・人工生命システム創成への挑戦，遺伝子組換体を用いた生体物質によるエネルギー変換機構の生化学的・物理化学的研究を行っています。環境化学分野では，内分泌攪乱物質など，ヒトや野生生物の健康に悪影響を及ぼす化学物質に注目し，環境汚染の現状と推移，分布・挙動・ゆくえ，生物蓄積の特徴と曝露リスク等を地域的・地球的視点で究明しています。	[長岡　伸一] 高橋　亮治 宇野　英満 佐藤　久子 内藤　俊雄 国末　達也 座古　保 小原　敬士	谷　弘幸 島﨑　洋次 杉浦　美羽 倉本　誠 奥島　鉄雄 山本　貴 髙瀬　雅祥 野見山　桂 小川　敦司	垣内　拓大 森　重樹 佐藤　文哉

[　]は令和３年３月31日定年退職予定の教員を示します。

生物環境科学コース

講座	研究概要	担当教員		
		教授	准教授	講師
生物環境科学	生体内で起こる諸現象を，分子から個体までの様々なレベルで解析し，総合的に理解すること，また地球上の自然環境が生物と物質構造との相互に影響しあい複雑に関連した系として成立しているという視点に立って，生物圏の環境変遷のプロセスと生物と環境との相互作用を解明することを目的とした研究を行っています。とくに，植物細胞の構造と機能，細胞小器官の形成過程，植物体の環境変化に対する適応的応答の生理学的機構，昆虫発生における形態形成と進化，両生類変態期の細胞分化と組織変化，脊椎動物における脳形態の進化，生物個体間の相互作用，共生の進化，生態系における物質循環，河川生態系，有害物質の環境動態と生態系への影響，微生物と他生物の相互作用，生態系と生態進化などに重点を置いています。	井上　雅裕 岩田　久人 中島　敏幸 井上　幹生 〈大森　浩二〉	村上　安則 佐久間　洋 佐藤　康 北村　真一 高田　裕美 畑　啓生	金田　剛史 仲山　慶 福井眞生子

〈　〉は令和２年３月31日定年退職予定の教員を示します。

（別紙）

入学試験個人成績の開示

本研究科では，入学試験の個人成績及び教育コースでの順位を受験者本人に限って開示します。

ただし，合否判定基準において不合格の者については，順位は「なし」と表示します。また，理学系については，合格者が５名未満の場合は教育コースでの順位は開示しません。

令和元年度入学試験の個人成績及び教育コースでの順位評価の開示は，次のとおり行いますので，希望者は期間内に申し込んでください。

請 求 者　　受験者本人に限ります。（代理人は不可）

請求期間　　令和元年10月１日（火）～令和元年10月11日（金）

（郵送による請求のみとし，この**期間内の消印**があるものに限り受け付けます。）

請求方法　　書面（記入例参照）により，令和元年度愛媛大学大学院理工学研究科博士前期課程受験票と402円分の切手を貼付し，自己のあて先を明記した返信用封筒（長形３号：12cm×23.5cm）を同封して，工学系は教育学生支援部 教育支援課 工学部チームへ，理学系は教育学生支援部 教育支援課 理学部チームへ請求してください。

開示方法　　受験者あて簡易書留郵便で送付します。

（請求書記入例）

令和　　年　　月　　日

愛媛大学大学院理工学研究科長　殿

請求者氏名　　印

愛媛大学大学院理工学研究科受験番号

入学試験個人成績・教育コース順位

開示請求書

令和元年度の愛媛大学大学院理工学研究科博士前期課程入学試験（９月入学）の個人成績・教育コース順位について，下記のとおり開示請求します。

記

１．入学試験の個人成績（各科目の点数・評価）

２．教育コースでの順位

開示請求するものを明記してください。

〒790-8577　松山市文京町３番
愛媛大学教育学生支援部　教育支援課　工学部チーム　TEL 089-927-9697
理学部チーム　TEL 089-927-9546